令和８年度
羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和７年度分）報告書

令和８年８月

羽村市教育委員会

目　　次

１　羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について　・・・　１

２　羽村市教育委員会教育目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

３　事務事業の点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

子どもたちの育成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

地域資源の活用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

多様な学習の展開　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

生涯学習の支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58

４　点検・評価に関する学識経験者からの意見　・・・・・・・・・　72

５　教育委員会の活動の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　83

教育委員会の審議事項等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　83

教育委員会委員の主な活動報告　・・・・・・・・・・・・・・・　87

教育委員会学校訪問　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　90

資料編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　91

Ⅰ　羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

（１）点検・評価の目的

羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

（２）点検・評価の対象

令和６年度羽村市教育委員会の教育目標に基づく次の４つの基本施策に掲げる主な事務事業を対象とする。

（基本施策１）子どもたちの育成
（基本施策２）地域資源の活用
（基本施策３）多様な学習の展開
（基本施策４）生涯学習の支援

（３）点検・評価の実施方法

ア　点検・評価は、前年度の教育委員会の主な事務事業の取組状況を総括するとともに、課題や今後の取組みの方向性を示すものとし、毎年１回実施する。

イ　事務事業の進捗状況等を取りまとめ、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取したうえで、教育委員会が点検・評価を行う。

ウ　教育委員会において、点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を羽村市議会へ提出するとともに、その報告書を市民に公表するものとする。

２　羽村市教育委員会教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

同時に、教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。

また、誰もが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

羽村市教育委員会は、このような考え方に立って、以下の「教育目標」に基づき、積極的に教育行政を推進していく。

教育目標

羽村市教育委員会は、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる生涯学習社会の実現を図る。

また、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願うとともに、明日の羽村をつくる能力や態度の育成を目指し、

・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を推進する。

そして、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

羽村市教育委員会の基本方針

羽村市教育委員会は、先の「教育目標」を実現するため、次の４つの基本方針を基に、教育施策を実施していく。

基本方針１　「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての大人、子どもたちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

基本方針２　「豊かな個性」と「創造力」の伸長

グローバル化と情報技術革命が進展する中で、国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性などの資質・能力を育成することが求められる。

そのために、多様な教育ニーズに配慮し、基礎的な学力の向上を図り、子どもたちの豊かな個性と創造力を伸ばすため、小中一貫教育を柱とした特色ある教育を推進する。

基本方針３　「市民の教育参画」と「総合的な教育力」の充実

学校・家庭・地域の連携、協力とすべての市民の教育参画を進め、子どもたちの健やかな成長を地域社会全体で支えるとともに、市民の感覚と学校経営の感覚をより重視して、教育行政を力強く展開することが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民に信頼される魅力ある学校づくりを支援する。

基本方針４　「生涯学習」の推進

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に活かすことができる環境を整えることが求められる。

そのために、第二次羽村市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

令和７年度　教育委員会の主な事務事業

１　子どもたちの育成

・子育て関係講座等の充実 ＜生涯学習推進課＞
・家庭教育関連情報の提供と啓発 ＜生涯学習推進課＞
・幼・保・小の連携による円滑な接続の支援＜教育支援課＞
・小中一貫教育の推進 ＜学校教育課＞
・道徳教育の充実 ＜学校教育課＞
・健康な体づくりの推進 ＜学校教育課＞
・ICT 機器を活用した教育の推進 ＜学校教育課＞
・スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施 ＜学校教育課＞
・コミュニティ・スクールの運用 ＜学校教育課＞
・部活動の地域連携・地域移行の推進 ＜学校教育課＞
・放課後子ども教室の充実 ＜生涯学習推進課＞
・特別支援教育推進体制の整備 ＜教育支援課＞
・特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施 ＜教育支援課＞
・教育相談体制の充実 ＜教育相談室＞
・家庭と子どもの支援員の活用推進 ＜教育相談室＞

２　地域資源の活用

・市内事業所等と協力した社会体験事業の実施 ＜生涯学習推進課＞
・人材バンク登録制度の活用 ＜生涯学習推進課＞
・図書館ボランティアの育成と支援 ＜図書館＞
・学びのきっかけとなる講座の実施 ＜生涯学習推進課＞
・地域学校協働本部の活用 ＜学校教育課＞
・生涯学習に関係する資格等の情報提供 ＜生涯学習推進課＞
・企画展の開催 ＜郷土博物館＞
・郷土学習のための講座等の実施 ＜郷土博物館＞
・文化財に関する情報提供 ＜郷土博物館＞
・登録郷土研究員の活用 ＜郷土博物館＞
・展示説明員の育成と活用 ＜郷土博物館＞

3　多様な学習の展開

・芸術文化の鑑賞機会の提供 ＜生涯学習推進課＞
・芸術文化の体験事業の提供 ＜生涯学習推進課＞
・市ゆかりの芸術家の作品展の実施 ＜生涯学習推進課＞
・ゆとろぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施 ＜生涯学習推進課＞
・活動成果の発表機会の提供 ＜生涯学習推進課＞
・子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供 ＜スポーツ推進課＞
・スポーツ活動の機会の提供 ＜スポーツ推進課＞
・指導者の養成と資質の向上支援 ＜スポーツ推進課＞
・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした
新たなスポーツの振興 ＜スポーツ推進課＞
・障害者スポーツの普及啓発 ＜スポーツ推進課＞
・図書館業務体験事業の実施 ＜図書館＞
・読書への意欲を高めるための講座等の実施 ＜図書館＞
・読書手帳の活用 ＜図書館＞
・図書館資料活用の推進 ＜図書館＞
・「家読（うちどく）」事業等の実施 ＜図書館＞
・学校と連携した読書活動への支援 ＜図書館＞
・国際理解や多文化共生に関する講座等の実施 ＜生涯学習推進課＞
・高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援 ＜生涯学習推進課＞
・健康に関する講座等の実施 ＜スポーツ推進課＞
・青年学級事業の実施 ＜生涯学習推進課＞

4　生涯学習の支援

・文化団体の活動支援 ＜生涯学習推進課＞
・スポーツ団体の活動支援 ＜スポーツ推進課＞
・団体への補助金の交付 ＜生涯学習推進課、スポーツ推進課＞
・団体等の活動情報の収集・提供 ＜生涯学習推進課＞
・団体等の情報発信支援 ＜生涯学習推進課＞
・生涯学習関連情報の発信
＜生涯学習総務課、生涯学習推進課、スポーツ推進課＞
・生涯学習まちづくり出前講座の活用促進 ＜生涯学習推進課＞
・企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施
＜生涯学習推進課＞
・生涯学習コーディネート機能の運用 ＜生涯学習推進課＞
・学校施設の計画的な改修工事の実施 ＜生涯学習総務課＞
・１人１台端末の更新及びネットワーク環境の充実＜学校教育課＞
・生涯学習センターゆとろぎの計画的な整備 ＜生涯学習推進課＞

３　事務事業の点検・評価

令和８年度の点検・評価対象事業（令和７年度分）は、令和７年度教育委員会の教育目標に掲げる主な事務事業とする。

方向性１　子どもたちの育成

No.	実施事業名	担当課	評価
1	子育て関係講座等の充実	生涯学習推進課	B
2	家庭教育関連情報の提供と啓発	生涯学習推進課	A
3	幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	子育て支援課 教育支援課	A
4	小中一貫教育の推進	学校教育課	A
5	道徳教育の充実	学校教育課	A
6	健康な体づくりの推進	学校教育課	B
7	ICT機器を活用した教育の推進	学校教育課	A
8	スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施	学校教育課	A
9	コミュニティ・スクールの運用	学校教育課	A
10	部活動の地域展開の実施	学校教育課	A
11	放課後子ども教室の充実	生涯学習推進課	A
12	特別支援教育推進体制の整備	教育支援課	A
13	特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	教育支援課	A
14	教育相談体制の充実	教育相談室	A
15	家庭と子供の支援員の活用推進	教育相談室	A

No.１

実施事業

子育て関係講座等の充実	(1-1)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和７年度の事業内容	○家庭教育セミナー（子育てや家庭での学びの講座）の実施　１事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上		
取組実績	家庭教育セミナー（子育て講座）の実施（令和8年3月8日） ○参加者数4組（大人4人、子供7人）／定員15組（会場：プリモホールゆとろぎ 講座室１）…26% ○参加者の満足度…大人100%、子供100%		
成果・効果	羽村市立小・中学校ＰＴＡ連合会研修部に協力してもらい、「あそびがつなぐ親子の時間―令和の教育、子供への接し方の見つめ直し―」をテーマに、ボードゲームを通じて、遊びから生まれる家庭内のコミュニケーションについて学ぶ機会をつくることができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	子供が参加したくなるテーマを考え、企画したが、集客が奮わなかった。 実施方法や広報の表現について、子供も保護者も参加したくなる工夫を施し、参加者を増やしていく。		

No.2

実施事業	
家庭教育関連情報の提供と啓発	(1-4)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○就学児健診での「家庭教育はじめの一歩」の配布 ○市公式サイトでの周知	
目標（指標）	○就学児健診での「家庭教育はじめの一歩」の配布 小学校全7校　400部	
取組実績	○就学児健診で「家庭教育はじめの一歩」を配布　全小学校（7校） ○市公式サイトに「家庭教育はじめの一歩」を掲載	
成果・効果	保護者に対して家庭での教育に関する情報提供を行い、子供たちが健やかに社会へ巣立つための家庭教育を考えるきっかけすることができた。 冊子は、市公式サイトの二次元コードを掲載し、スマートフォンから家庭教育に関する情報にアクセスしやすくする取組を行った。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	引き続き、保護者に対し家庭教育に関する情報提供を行う。 また、保護者が家庭教育に関する情報に気軽にアクセスするための手法等について引き続き検討する。	

No.3

実施事業

幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	(2-1)

【担当課】 子育て支援課、教育支援課

【関連課】 こども家庭センター、学校教育課

令和7年度の事業内容	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校が相互に連携・協力し、小学校への円滑な接続が可能となるよう、現状の把握、対応方法の検討、特別支援教育の理解を含めた情報共有・意見交換等を実施する。	
目標（指標）	○年長児から小学校1年生への円滑な接続に関する情報共有・意見交換の実施　年3回 ○幼稚園・保育園等及び小学校の教員等の相互訪問・状況把握の実施	
取組実績	【全体会議】　令和7年4月21日、10月24日、令和8年2月6日（全3回） 【小学校見学】 令和7年5月12日～22日 【幼稚園見学】 令和7年8月22日～29日 全体会議ではカリキュラムの改訂や、各園・各校における取組や考え方などを共有した。小学校見学には学童クラブの職員も参加し、相互理解を深めることができた。	
成果・効果	学校、幼稚園それぞれで実際にどのような生活を送っているのかを確認することができ、意見交換では悩みや課題の共有から各自の取り組みまで幅広く活発に交流ができていた。協議会で出た意見を反映した改訂版のカリキュラムを作成することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	小学校、幼稚園、保育園等が集まり共通理解を持てる貴重な機会である。今年度は全体会議にて「はばたき教室」「園への巡回相談」について焦点を当てた話を実施した。今後も意見交換はもちろんのこと、架け橋期に参考となる情報の共有や支援の紹介などを行うことで、幼保小のより円滑な接続を支援していく。	

No.4

実施事業

小中一貫教育の推進	(2-2)

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和７年度の事業内容	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成した義務教育９年間のカリキュラム等について、市教育研究会と連携し、実践に向けて取り組む。 また、各学校が取り組む連携事業等について、更なる充実に向けた支援を行う。		
目標（指標）	○市教育研究会と連携したカリキュラム等の授業実践の実施 ○連携事業等への支援		
取組実績	○市教育研究会と連携し、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成したカリキュラムについて、効果検証を図り、授業実践に向けた研究を行った。 ○市教育研究会の各部会等の実施する取組に対し技術的な支援等を行った。		
成果・効果	義務教育９年間のカリキュラムを意識した授業の実践研究を行った。市教育研究会を中心に、小中一貫カリキュラム等開発委員会で作成した資料等を活用した授業を行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	今後も、教育研究会と連携を図り、義務教育９年間のカリキュラム等の実践に取り組む。一人ひとりの成長や学習でのつまずき、学習進度等を的確に捉え、１人１台端末を活用しながら「個別最適な学び」を推進する。		

No.5

実施事業	
道徳教育の充実	（2-3）

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和7年度の事業内容	特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 また、道徳教育への保護者や地域の理解及び連携を促進させるため、道徳授業地区公開講座における保護者や地域との意見交換会等の実施と充実に取り組んでいく。		
目標（指標）	○道徳授業地区公開講座における意見交換会等の実施 小・中学校（全10校）		
取組実績	各学校において道徳授業地区公開講座を実施し、学校で行われている道徳授業の公開と保護者や地域との意見交換を行った。		
成果・効果	保護者や地域の方の理解促進につなげるための道徳授業地区公開講座を開催し、道徳授業の公開及び保護者地域の方々と意見交換をすることで、道徳授業の理解促進と更なる授業力の向上を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、道徳授業地区公開講座を開催するとともに、保護者や地域との意見交換も継続的に実施する。 また、保護者や地域の方の理解促進のため、道徳授業地区公開講座の趣旨等をまとめた資料を作成し、活用していく。		

No.6

実施事業

健康な体づくりの推進	（2-4）

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和７年度の事業内容	体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力行動努力月間や日ごろの活動を通じて取り組んでいく。 健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。
目標（指標）	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和6年度　小5　男子93.8%　女子92.4% 中2　男子89.2%　女子75.4%
取組実績	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合 の前年度からの向上 令和7年度 小5 男子92.6% 女子88.1% 中2 男子92.8% 女子81.6%
成果・効果	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、全国と比較して、小学校５年女子、中学校２年の男女で肯定的回答の割合が高い結果となっている。市として経年で見ると、中学校２年生男子及び女子は前年度から向上し、小学校５年生男子及び女子は低下した。
評価（達成度）	B

評価凡例	
A	達成度　80%以上
B	達成度　50%以上80%未満
C	達成度　30%以上50%未満
D	達成度　30%未満
―	未実施

課題・対応	引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。 なお、国及び東京都の平均値は次のとおり。 小5 男子（国：93.4%、都：93.9%） 女子（国：85.8%、都：88.2%） 中2 男子（国：91.1%、都：91.4%） 女子（国：77.3%、都：78.9%）

No.7

実施事業

ICT機器を活用した教育の推進	(2-5)

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和7年度の事業内容	1人1台端末などのICT機器を教育活動の様々な場面で活用し、「一人一人の理解度や学習進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子どもたちの個別最適な学びの実現に向け、誰一人取り残すことなく取り組んでいく。	
目標（指標）	○GIGAスクールサポーターの配置　1人 ○ICT支援員の配置　10校 ○学習支援ドリルの運用	
取組実績	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 10校 ○学習支援ドリルの運用	
成果・効果	GIGAスクールサポーター及びＩCT支援員（授業支援・運用アドバイス等）を配置し、ICTに関する専門的・技術的な支援を行い、ICT機器を活用した効果的な授業を実践することができた。 また、学習支援ドリルを活用することで、一人一人の理解度や学習進度に応じた学習を行うことができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	引き続き、GIGAスクールサポーターやICT支援員を配置し、ＩＣＴ機器のさらなる活用を図るとともに、学校におけるＤＸの取組を推進していく。	

No.8

実施事業

スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施	(2-6)

【担当課】 学校教育課

【関連課】 生涯学習総務課、スポーツ推進課

令和7年度の事業内容	スイミングセンターで、小学校水泳授業（指導員による指導を含む）を実施する。 ○小学校2校（松林小学校、武蔵野小学校）		
目標（指標）	○水泳授業の実施日数：武蔵野小学校15日、松林小学校5日		
取組実績	○小学校2校（松林小学校、武蔵野小学校）において、スイミングセンターでの水泳授業を実施した。 ・実施日数 通常の学級　松林小学校 5日（期間：6月～7月）、武蔵野小学校 17日（期間：9月～10月） 特別支援学級　松林小学校・武蔵野小学校合同 5日（6～9月） ・移動方法　松林小学校 徒歩（隣接）、武蔵野小学校 バス送迎		
成果・効果	・屋内プールを活用したことで、天候等の影響に関係なく授業を行うことができた。 ・専門指導員による指導により、安全管理で各児童のレベルにあった水泳授業を実施することができた。 ・教員の水泳授業に係る負担を軽減することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	水泳授業の外部委託については有効的であることから、引き続き小学校2校（松林小学校、武蔵野小学校）の水泳授業はスイミングセンターで実施していくとともに、他学校についても実施に向けた準備が整い次第、実施していく。		

No.9

実施事業	
コミュニティ・スクールの運用	(2-7)

【担当課】 学校教育課

【関連課】 生涯学習推進課

令和7年度の事業内容	全小・中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会を置く学校）について、地域住民や保護者の学校運営への参画を促進し、地域に根差した特色ある学校づくりに取り組む。	
目標（指標）	○コミュニティ・スクールの運用　10校 ○コミュニティ・スクール委員会委員対象研修の実施　1回	
取組実績	○コミュニティ・スクールの運用 全10校 ○コミュニティ・スクール委員会委員を対象とした研修の実施 1回	
成果・効果	各学校において、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学校の現状・課題を踏まえたうえでの教育活動について意見を交わし、定期考査前の学習会の実施などの取組につなげることができた。 コミュニティ・スクール委員会委員対象の研修会では、他学校の委員同士での情報交換も行った。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	円滑にコミュニティ・スクールの運用ができるよう、伴走支援を行う。	

No.10

実施事業

部活動の地域展開の実施	(2-8)

【担当課】 学校教育課

【関連課】 生涯学習総務課、生涯学習推進課、スポーツ推進課

令和7年度の事業内容	これまで学校が主体となって実施していた部活動について、国の方針に基づき段階的に地域のクラブや団体に地域展開する。 また、地域展開の準備を行う部活動の地域とのつながりの強化や活動環境の充実を図る。		
目標（指標）	○部活動の地域展開の実施　3部活動 ○既存部活動の地域展開の準備　6部活動 ○（仮称）部活動地域展開連絡協議会の開催　1回 ○指導者講習会の実施　2回		
取組実績	○部活動の地域展開の実施　4部活動 ○既存部活動の地域展開の準備　7部活動 ○部活動地域展開コーディネーターとの連絡会　1回 ○指導者講習会の実施　2回		
成果・効果	令和7年度から4部活動が地域展開をスタートすることができた。 次なる地域展開に向けて合同での活動や具体的な準備を進めるとともに、部活動地域展開コーディネーターを配置し、部活動の地域展開の円滑な実施及び推進を図った。 また、TEAMはむら指導者及び拠点校指導者向けの講習会を開催し、クラブ運営における安全管理意識の向上に繋げた。加えて、部活動地域展開通信『Let's TEAMはむら』を４号発行し、公式サイト等を通じ、学校・保護者・地域等に対しての情報発信を行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		—	未実施
課題・対応	「TEAMはむら」として活動する団体の支援（費用面や施設面の調整や学校との連携等）を行うとともに、地域展開に向けて、拠点校方式等で実施する部活動の調整等を行う。		

No.１１

実施事業

放課後子ども教室の充実	（2-9）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和７年度の事業内容	○放課後子ども教室スタッフの充実及び、活動プログラムの充実	
目標（指標）	○放課後子ども教室指導員及びコーディネーターの増員（4人増） ○地域団体や事業者との連携による活動プログラムの実施　3団体	
取組実績	○放課後子ども教室指導員及びコーディネーターの増員（4人増） ・各教室指導員を6人体制に充実（3人増員） ・特別支援・共生コーディネーターを１人配置 ○地域団体や事業者との連携による活動プログラムの実施　3団体 ・日野自動車株式会社（ペットボトルロケット制作） ・はむら16ミリ映像研究会（映画会） ・東京都（スポーツ教室、科学実験教室、文化体験教室）	
成果・効果	運営体制の充実及び、地域団体や事業者と連携した活動プログラムの実施により、放課後子ども教室事業の充実を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	今後も継続的に運営体制の充実及び、活動プログラムの充実に努めていく。 また、運営の民間委託化について検討し、令和8年度、学校内で学童クラブを実施している放課後子ども教室１校で試行実施することとした。	

No.12

実施事業	
特別支援教育推進体制の整備	(2-10)

【担当課】 教育支援課

【関連課】 学校教育課、教育相談室、こども家庭センター

令和7年度の事業内容	全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍するとの認識のもと、一人一人の児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育推進体制を充実する。 ○特別支援教育支援員(通常の学級)、特別支援学級介助員(固定学級)の配置 ○専門職を活用した就学、転学相談の充実		
目標（指標）	○就学・転学相談のアンケートにおける肯定的な回答　80%以上		
取組実績	○特別支援教育推進体制の充実のため、通常の学級に特別支援教育支援員、特別支援学級に特別支援教育介助員を配置した。　(支援員29人、介助員27人) ○就学相談員を活用した就学・転学相談（１０１件）を実施した。 相談が終結した案件のうち、アンケート回答提出された70件の肯定的な回答は97.1%		
成果・効果	特別支援教育支援員及び特別支援教育介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備した。 就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	特別支援教育支援員及び特別支援教育介助員を欠員のないよう適切に配置していく。 複雑多様化する相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。		

No.13

実施事業

特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	(2-11)

【担当課】 教育支援課

【関連課】 教育相談室

令和7年度の事業内容	○特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が抱える困難の改善に向けて効果的に指導するため、特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒を対象に発達検査を実施する。	
目標（指標）	○指導期間延長の協議を令和8年1月末までに終了させる。	
取組実績	○特別支援教室の利用のための協議件数の増加に対応するために、教育相談員による発達検査の計画的な実施体制を組み、令和7年度は6件の発達検査を教育支援課（教育相談室）で実施した。 ○特別支援教室の指導期間延長の案件が増加したため、処理期間を延長して入室支援委員会における協議を行い、児童・生徒の入室支援を行うことができた。(44件)	
成果・効果	教育活動の一部に特別な指導・支援を行う特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒に対し、適切な学びの場を保障することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A　達成度　80%以上
		B　達成度　50%以上80%未満
		C　達成度　30%以上50%未満
		D　達成度　30%未満
		―　未実施
課題・対応	特別支援教室を利用する対象児童・生徒が増加傾向にあり、発達検査の需要が増加していることから、学校や保護者に対し、手続に要する期間等の情報発信を適切に行っていく。	

No.14

実施事業

教育相談体制の充実	(2-12)

【担当課】 教育相談室

【関連課】 教育支援課、学校教育課、こども家庭センター

令和7年度の事業内容	全児童・生徒を対象に実施する生活アンケートの結果を学校へ提供・活用することで、不登校等の未然防止・早期対応に向けたきめ細やかな教育相談体制を充実させる。	
目標（指標）	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供	
取組実績	○全校で児童・生徒を対象に、毎月実施する「学校生活（いじめ）アンケート」を実施し、学校生活全般における不安や悩みを抱える児童・生徒の実態を把握し、内容により個別対応を行うなど、不登校等の未然防止や、支援の必要な児童・生徒の早期発見・早期対応に努めた。 ○不安や悩みを一人で抱え込まず、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ＳＮＳ・電話相談等の相談資源を適切に選択できるよう校内掲示等を通じ、全児童・生徒に周知を行った。	
成果・効果	学校ごとにアンケートを実施することで、児童・生徒の不安や悩みを迅速に把握し、早期発見・早期対応に向けた取組を行うことができている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の認知度が向上し、校内で児童・生徒と専門職のコミュニケーション機会が増加している。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A 達成度　80%以上 B 達成度　50%以上80%未満 C 達成度　30%以上50%未満 D 達成度　30%未満 ― 未実施
課題・対応	児童・生徒の心理的な実態を把握し、その結果により迅速な対応や見守りを行う必要があるため、従前は教育委員会から送付・提供した手法を改め、自校で学年に応じた方法で実施し、結果を確認することとしている。	

No.15

実施事業

家庭と子供の支援員の活用推進	(2-13)

【担当課】 教育相談室

【関連課】 学校教育課

令和7年度の事業内容	各学校における児童・生徒の不登校等の生活指導上の課題に対応し、問題行動の未然防止のため、家庭と子供の支援員の活用による支援を行う。		
目標（指標）	家庭と子供の支援員活動時間　年間3,200時間		
取組実績	○登校しぶりのある児童・生徒の登校支援、不登校傾向にある児童・生徒の校内別室における支援をはじめ、生活指導上の課題や問題行動の未然防止のため、全小・中学校に家庭と子供の支援員の配置時間を増加して、児童・生徒への支援を行った。 （10校18人、年間2,686時間） ○学校生活で生活指導上の課題を抱える児童・生徒へ直接関わるとともに、学校と家庭をつなぐ役割を担い、保護者への助言など、相談支援を行った。		
成果・効果	不登校傾向や生活指導上の課題を抱える児童・生徒の支援にきめ細かく対応した。 学びの継続のため、学校と家庭をつなぎ、通学路での立哨や家庭訪問、登校支援の相談、校内別室における学習支援など、児童・生徒の学校生活の安定に向けた支援を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	家庭と子供の支援員の担い手不足など、欠員が生じないよう、人材確保が課題になってきている。		

方向性２　地域資源の活用

No.	実施事業名	担当課	評価
16	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	生涯学習推進課	B
17	人材バンク登録制度の活用	生涯学習推進課	C
18	図書館ボランティアの育成と支援	図書館	A
19	学びのきっかけとなる講座の実施	生涯学習推進課	A
20	地域学校協働本部の活用	学校教育課	A
21	生涯学習に関係する資格等の情報提供	生涯学習推進課	A
22	企画展の開催	郷土博物館	A
23	郷土学習のための講座等の実施	郷土博物館	A
24	文化財に関する情報提供	郷土博物館	A
25	登録郷土研究員の活用	郷土博物館	A
26	展示説明員の育成と活用	郷土博物館	A

No.16

実施事業

市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	(3-5)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○市内事業所等による出前講座の実施　1事業 ○市内事業者と連携した体験教室の実施　1事業	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上	
取組実績	○わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇 「コスモ精機株式会社 」「株式会社ムサシノキカイ」 実施日　令和7年11月23日 参加者数 31人／定員50人 定員に対する参加者　62% 満足度　87% ○日野自動車連携子ども講座「とばしてみよう！！ペットボトルロケット！」 実施日　令和7年8月22日 参加者数 14人／定員20人 定員に対する参加者　70% 満足度　100%	
成果・効果	わが街羽村を知るシリーズはゆとろぎ協働事業運営市民の会が企画・運営を行い、幅広い世代に向けて市内事業者を知る講座を実施することができた。 子ども講座は、子供を対象に市内事業者の強みを生かした事業を実施することができた。 いずれも、市内事業者と連携して事業を行ったことで、羽村市ならではの学びと体験の機会をつくることができた。	
評価（達成度）	B	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	両事業とも参加者数が目標（指標）に対して少なかったため、改めてゆとろぎ協働事業運営市民の会と参加者のニーズを見極め、市内事業所との交流につながる事業を行っていく。	

No.17

実施事業

人材バンク登録制度の活用	（4－1）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○はむら人ネットガイドの発行　1回 ○市公式サイトでの周知	
目標（指標）	○新規登録者　3人 ○団体・サークルガイドとの統合発行	
取組実績	○はむら人ネットガイドの発行　1回 ○新規登録者　0人 ○団体・サークルガイドとの統合発行 ○はむら人ネットガイドの見直し・検討（社会教育委員からの意見徴取）	
成果・効果	より効果的な情報提供とするために、団体・サークルガイドと統合して発行した。 現状の課題や、今後のニーズ等を踏まえた見直しについて、社会教育委員の会議で意見を聴取するとともに、他地域での類似事業等について情報収集を行った。	
評価（達成度）	C	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	はむら人ネットガイドは、登録を令和8年度までとしているため、令和8年度は継続実施。今後、制度の内容や運用について見直しを行う。	

No.18

実施事業

図書館ボランティアの育成と支援	（4-5）

【担当課】 図書館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○図書館ボランティアの受け入れ ○図書館ボランティア養成講座の実施	
目標（指標）	○図書館ボランティア養成講座 定員に対する参加者　80%以上	
取組実績	○図書館ボランティア（団体・個人）の受入れ（本、紙芝居等の読み聞かせ、ブックトーク、書棚書架整理、屋上緑化等） ・受入団体：7団体 ・受入個人：5人 延べ138日 ○図書館ボランティア養成講座の開催 【読み聞かせについて学ぼう】 ・実施日：令和8年3月10日（火） ・参加者数：20人（申込者数：23人）/定員：20人 ・定員に対する参加者数の割合：100%	
成果・効果	○図書館ボランティアの活動機会や活動場所の支援を行うことができた。 ○お話会のボランティア養成として、「読み聞かせについて学ぼう」と題し、絵本の読み方や表現方法について、講座を実施した。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	個人ボランティアの活動は増えているものの、ボランティア団体への新規加入者が減少している。ボランティア養成講座の内容を一般の方にもより分かりやすくなるよう工夫し、ボランティア団体への参加者募集案内についても支援を継続していく。	

No.19

実施事業

学びのきっかけとなる講座の実施	（4-8）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○初心者講座の実施　1回（1事業）	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上	
取組実績	○「生涯楽習祭」の実施　1回　　（令和8年3月21日） 参加者数　延べ303人／想定200人（想定に対する参加者151%） 参加者の満足度　83%	
成果・効果	参加団体へ事業参加者が入会するなど、交流のきっかけを創出し、継続的な学びにつなげることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	普段ゆとろぎを利用して活動している団体による体験ブースと生涯学習に関する講演会を同日開催としたが、講演会後に生涯楽習祭に参加する時間が取れなかった。今後は効果的な事業の組み方を検討して実施していく。	

No.20

実施事業	
地域学校協働本部の活用	（4-9）

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和7年度の事業内容	地域学校協働活動の地域コーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実を図る。 また、コミュニティ・スクール導入する学校に活動推進員を配置し、学校と地域が一体となった活動を推進するとともに、コミュニティ・スクール委員会との連携を図る。	
目標（指標）	○コーディネーターの配置　3人 ○活動推進員の配置　10人	
取組実績	○コーディネーターの配置　3人 ○活動推進員の配置　小・中学校全10校10人 ○「はむらの地域学校協働活動ハンドブック.」を作成・公表した。 ○「はむらの教育」や「はむらのコミュニティ・スクール通信　はむこみ」などを通じ事業周知を図った。 ○コーディネーター等が中心となり、学校で実施する講演会講師招へい等の支援を行った。	
成果・効果	各学校の地域学校協働本部に配置した活動推進員及び、中学校区ごとに配置した地域コーディネーターを中心に、学校のニーズに沿った地域人材の発掘、コーディネートを行った。 また、推進委員それぞれの活動状況を共有し、地域に密着した学校活動の充実につなげることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、学校のニーズに沿った 人材発掘等を行う。 また、充実した活動につなげられるよう、連絡会を開催して意見交換を行うなど、地域学校協働本部間の連携も強化する。	

No.21

実施事業

生涯学習に関係する資格等の情報提供	(4-10)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○市公式サイトでの情報発信 ○資格認証制度の相談受付		
目標（指標）	○「はむらの教育」への記事の掲載　1回		
取組実績	○市公式サイト及びはむらの教育令和8年3月1日号」に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民へ情報発信を行った。（1回） ○資格認証制度の相談受付を行った。		
成果・効果	市民に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度を情報提供し、生涯学習に関する資格について情報提供を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、市民へ生涯学習に関する資格等の情報を提供していく。		

No.22

実施事業

企画展の開催	(5-1)

【担当課】 郷土博物館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「生誕140年　中里介山展」 ○【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「開館40年のあゆみ展」 ○企画展「こいのぼりと五月人形」 ○企画展「ひな人形展」		
目標（指標）	○郷土博物館入館者数　20,000人		
取組実績	年間入館者数21,911人を達成した。 【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「生誕140年　中里介山展」　10月1日～12月7日　入館者数7,203人 【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「開館40年のあゆみ展」　4月5日～12月7日　入館者数15,655人 企画展「こいのぼりと五月人形」　4月12日～5月11日　入館者数1,657人 企画展「ひな人形展」　2月7日～3月8日　入館者数1,587人		
成果・効果	常設展示や企画展示を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会を図ることが出来た。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	入館者数が減少している。 郷土博物館の魅力を発信し、リピーターや新たな来館者の獲得を図る。		

No.23

実施事業

郷土学習のための講座等の実施	(5-2)

【担当課】 郷土博物館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「生誕140年　中里介山講演会」" ○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」　7校実施		
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上		
取組実績	【羽村市郷土博物館開館40周記念事業】 「生誕140年　中里介山講演会」　10月12日　定員50人/参加者58人　満足度96% 体験学習会「まゆから糸をひこう！」　8月10日　定員小人40人/参加者65人（小人36人、付添い大人29人）　満足度84% 体験学習会「市内小学3年生郷土学習」　7校実施		
成果・効果	講座や体験学習会を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会の提供が出来た。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	今後も魅力ある講座等を企画・運営し、参加者の満足度向上を図る。		

No.24

実施事業	
文化財に関する情報提供	(S-3)

【担当課】 郷土博物館

【関連課】 秘書広報課

令和7年度の事業内容	○文化財説明板の作成設置 ○『羽村市郷土博物館紀要』の発行 ○「東京文化財ウィーク」事業の参加 ○「多摩郷土誌フェア」の実施 ○郷土博物館公式X（旧ツイッター）、〔新規事業〕公式インスタグラムでの情報発信	
目標（指標）	○文化財説明板の作成設置　1基 ○2事業の実施（東京文化財ウィーク、多摩郷土誌フェア） ○X（旧ツイッター）フォロワー数　1,200人 　インスタグラムフォロワー数　100人	
取組実績	文化財説明板の作成設置　新設1基 『羽村市郷土博物館紀要』　第40号発行 「東京文化財ウィーク」期間（10月1日～11月30日）企画展・講座を実施　入館者数6,616人 「多摩郷土誌フェア」への出展、紀要等の図書販売（1月17日、18日）47冊販売 公式X（旧ツイッター）　フォロワー数（3月末現在）1,457人 公式インスタグラム　フォロワー数（3月末現在）110人	
成果・効果	市内文化財に関する情報を様々な機会を通じて発信した。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	ＳＮＳを活用し、さらに多くの方に情報を発信していく。	

No.25

実施事業	
登録郷土研究員の活用	(S-4)

【担当課】 郷土博物館

【関連課】

令和7年度の事業内容	郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座等の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、情報収集を行い継続して新たな人材を発掘する。	
目標（指標）	○『羽村市郷土博物館紀要』の発行　年1回	
取組実績	○『羽村市郷土博物館紀要』　第40号の発行（論考掲載4編） ・「治水要辨」を読む ・井戸と井戸水 ・玉川上水の助水・残堀川の歴史 ・埋蔵文化財の調査とその活用　ー近年の羽ヶ田上遺跡発掘調査からー	
成果・効果	登録郷土研究員の調査・研究の成果を郷土博物館紀要へ掲載し、市民等へ情報を発信した。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ー　未実施
課題・対応	今後も登録郷土研究員を活用し、郷土博物館紀要へ論考を掲載していく。	

No.26

実施事業

展示説明員の育成と活用	(5-5)

【担当課】 郷土博物館

【関連課】

令和7年度の事業内容	社会科見学として来館する都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行う。 また、展示説明員の専門知識や説明能力の向上を図る。		
目標（指標）	○社会科見学来校数　100校		
取組実績	○社会科見学来校数　95校 ○展示説明員　10人 ○定例会の開催　9回		
成果・効果	都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行うとともに、玉川上水の学習を支援した。 また、展示説明の能力向上を図るため、定例会を開催し玉川上水に関する情報提供を行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	定例会等を通じて展示説明員の能力向上を図るとともに、人材の確保を図っていく。		

方向性３　多様な学習の展開

No.	実施事業名	担当課	評価
27	芸術文化の鑑賞機会の提供	生涯学習推進課	A
28	芸術文化の体験事業の提供	生涯学習推進課	A
29	市ゆかりの芸術家の作品展の実施	生涯学習推進課	A
30	ゆとろぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	生涯学習推進課	A
31	活動成果の発表機会の提供	生涯学習推進課	A
32	子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	子育て支援課 スポーツ推進課	A
33	スポーツ活動の機会の提供	スポーツ推進課	A
34	指導者の養成と資質の向上支援	スポーツ推進課	B
35	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	スポーツ推進課	A
36	障害者スポーツの普及啓発	スポーツ推進課	A
37	図書館業務体験事業の実施	図書館	A
38	読書への意欲を高めるための講座等の実施	図書館	A
39	読書手帳の活用	図書館	A
40	図書館資料活用の推進	図書館	D
41	「家読（うちどく）」事業等の実施	図書館	B
42	学校と連携した読書活動への支援	図書館	A
43	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	生涯学習推進課	B
44	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	生涯学習推進課	B
45	健康に関する講座等の実施	スポーツ推進課	A
46	青年学級事業の実施	生涯学習推進課	A

No.27

実施事業

芸術文化の鑑賞機会の提供	(G-1)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○芸術文化の鑑賞事業の実施　19事業 【うち生涯学習センターゆとろぎ開館20周年特別記念事業　7事業】
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上
取組実績	○芸術文化の鑑賞事業の実施　19事業 定員に対する参加者　71% 参加者の満足度　90% ・ARK BRASSコンサート★　参加者数644人／定員854人：75%　満足度：91% ・もろはしせいこう超大型おんがく紙芝居　大人も楽しめる紙芝居ライブ★　参加者数237人／定員249人：95%　満足度：85% ・伝統文化交流事業inゆとろぎ 並木恒延・五十嵐誠・新井達矢★　3人展 ・中山みどりフェルトアート展★ ・FILM SCORE PHILHARMONIC ORCHESTRA コンサート★　参加者数792人／定員854人：93%　満足度：91% ・刀根里衣 絵本原画展★ ・星野富弘 花の詩画展★ ・第10回HAMURAメリーリボン演劇祭★　2日間延べ参加者数延べ1,428人 ・羽村ゆとろぎ寄席 特別公演★　参加者数327人／定員854人：38%　満足度：90% ・国立音楽大学連携コンサート★　参加者数275人／定員854人：32%　満足度：96% ・国立音楽大学2025年度 マネージメント実習 修了演奏会★　参加者数102人／定員241人：42%　満足度：94% ・羽村ゆとろぎ寄席★（年2回）　参加者数平均114人／定員252人：平均45% ・パフォーマンスキッズ・トーキョー★　参加者数15人／定員15人：100% ・ゆとろぎ想ひ出の映画鑑★（年2回）　参加者数211人／定員252人：84%　満足度：89% ・ゆとろぎステージ体験★　参加者数16組／定員16組：100%　満足度：87% ・演劇ワークショップきらり☆★　参加者数9人／定員10人：90% ・ゆとろぎ美術館★（年3期） ・24thアートinはむら展★ ・子ども国際交流音楽祭★　参加者数545人／定員854人：63%　満足度：92% ★…ゆとろぎ開館20周年特別記念事業
成果・効果	ゆとろぎ協働事業運営市民の会や関係団体等と連携し、芸術文化の鑑賞事業を実施することができた。
評価（達成度）	A

評価凡例	
A	達成度　80%以上
B	達成度　50%以上80%未満
C	達成度　30%以上50%未満
D	達成度　30%未満
―	未実施

課題・対応	定員に対する参加者数が少ない事業があった。引き続き、企画内容や周知方法について検討し、より多くの市民が参加する芸術文化の鑑賞事業を実施していく。

No.28

実施事業

芸術文化の体験事業の提供	(6-2)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○芸術文化の体験事業の実施　6事業 【うち生涯学習センターゆとろぎ開館20周年特別記念事業　1事業】		
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上		
取組実績	○芸術文化の体験事業の実施　6事業 定員に対する参加者　84% 参加者の満足度　93% ・ARK BRASSコンサート　ブラスクリニック★　参加者数43人／定員60人：71% 満足度：100% ・第10回HAMURAメリーリボン演劇祭　2日間延べ参加者数延べ1,428人 ・パフォーマンスキッズ・トーキョー　参加者数15人／定員15人：100% ・ゆとろぎステージ体験　参加者数16組／定員16組：100%　満足度：87% ・演劇ワークショップきらり☆　参加者数9人／定員10人：90% ・子ども国際交流音楽祭　参加者数545人／定員854人：63%　満足度：92% ★…ゆとろぎ開館20周年特別記念事業		
成果・効果	音楽・ダンス・演劇等、様々な芸術文化の体験事業を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、各事業において参加したくなる「テーマ」を見極め、事業を企画する。		

No.29

実施事業

市ゆかりの芸術家の作品展の実施	(6-3)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○作品展の実施　3事業 【うち生涯学習センターゆとろぎ開館20周年特別記念事業　1事業】	
目標（指標）	○作品展を通じて芸術文化の振興を図る。	
取組実績	・伝統文化交流事業inゆとろぎ 並木恒延・五十嵐誠・新井達矢★　3人展 ・ゆとろぎ美術館（年3期） ・24thアートinはむら展（出展者数：69人） ★…ゆとろぎ開館20周年特別記念事業	
成果・効果	羽村市が誇る作家や多摩地区アーティストによる作品展を開催し、価値の高い作品の数々を多くの人に見てもらうことができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	今後も地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がる事業を継続的に実施していく。	

No.30

実施事業

ゆとろぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	(6-4)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	①ホール事業　5事業 ②展示事業　　4事業 ③講座事業　11事業 ④サポートグループ（市民の会）との連携（随時） 【①②③のうち生涯学習センターゆとろぎ開館20周年特別記念事業　3事業】
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上
取組実績	定員に対する参加者　76% 参加者の満足度　85% ①ホール事業　5事業 ・もろはしせいこう超大型おんがく紙芝居　大人も楽しめる紙芝居ライブ★　参加者数237人／定員249人：95%　満足度：85% ・ゆとろぎ想ひ出の映画鑑（年2回）　参加者数211人／定員252人：84%　満足度：89% ・子どもフェスティバル　　2日間延べ参加者数3,156人 ・ゆとろぎステージ体験　参加者数16組／定員16組：100%　満足度：87% ・演劇ワークショップきらり☆　参加者数9人／定員10人：90% ②展示事業　　4事業 ・中山みどりフェルトアート展★ ・刀根里衣 絵本原画展★ ・ゆとろぎ美術館（年3期） ・24thアートinはむら展 ③講座事業　11事業 ・ゆとろぎ文学講座　近・現代編「谷崎潤一郎『春琴抄』を味読する」　参加者数2回平均24人／定員50人：49% ・ゆとろぎ身近なサイエンス講座「新型コロナのその後…感染症を防ぐ免疫の仕組みと健康を考える」　参加者数47人／定員60人：78% ・ゆとろぎ経済講座Ⅲ財政編「財政は私たちの生活とどう関わっているのか？」　参加者数27人／定員50人：54% ・ゆとろぎ近・現代史講座「日本電力産業の発展で産業・国民生活はどう豹変してきたか？」　参加者数34人／定員50人：68% ・ゆとろぎ先端テクノロジー講座「クルマはここまで進化している…安全制御システムの過去・現在・未来」　参加者数45人／定員50人：90% ・我が街再発見シリーズ「市内の寺社仏閣、名勝・旧跡などを知ろう」　参加者数43人／定員50人：86%　満足度：70% ・我が街羽村を知るシリーズ　企業出前講座　参加者数31人／定員50人：62%　満足度：87% ・夏休み子ども講座　　画家の酢平☆（スッペ）さんと一緒に丸だけで描いてみよう！参加者数17人／定員20人：85%　満足度：94% ・人権講座「どうする！いじめ、不登校、子供の貧困」　参加者数22人／定員50人：44% ・環境講座「強まる地球温暖化から食糧を考える…今私たちが考えること」　参加者数40人／定員50人：80% ・ゆとろぎ健康講座「ここまで来たがん治療＝がん発生の仕組みと予防・治療の最新情報を知る＝」　参加者数53人／定員60人：88%　満足度：86% ★…ゆとろぎ開館20周年特別記念事業

成　果　・　効　果	ゆとろぎ協働事業運営市民の会と協働し、ホール事業、展示事業、講座事業を実施することができた。また、年間を通じてサポートグループと連携し、ゆとろぎの事業運営や施設管理に協力をいただいた。		
評　価　（　達　成　度　）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課　題　・　対　応	定員に対する参加者数が少ない事業があった。引き続き、ゆとろぎ協働事業運営市民の会と協働し、参加者のニーズを見極め、ゆとろぎでの事業の企画運営や施設管理を行っていく。		

No.31

実施事業

活動成果の発表機会の提供	(6-5)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○文化祭の実施 ○HAMURAメリーリボン演劇祭の実施		
目標（指標）	○参加人数　文化祭・延べ15,000人以上 HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ1,000人以上		
取組実績	○文化祭（令和7年10月12日～11月3日） 来場者数延べ12,422人 ○第10回HAMURAメリーリボン演劇祭（令和7年7月19日・20日） 来場者数延べ1,428人		
成果・効果	文化祭、HAMURAメリーリボン演劇祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。 文化祭はゆとろぎ開館20周年・文化協会創立20周年を記念して編成した合唱団による特別公演、HAMURAメリーリボン演劇祭は第10回を機に結成された特別公演が行われるなど、市民の活動成果の発表機会が充実した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。		

No.32

実施事業

子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	(7-1)

【担当課】 子育て支援課、スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○キラキラポケットの実施 ○こぐまひろばの実施 ○わんわんひろばの実施 ○わくわくスポーツの実施 （児童館における子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実）
目標（指標）	○キラキラポケット　年14回実施（各児童館） ○こぐまひろば　　年22回実施（各児童館） ○わんわんひろば　　年14回実施（各児童館） ○わくわくスポーツの実施　年3回実施（東児童館） 　スポーツ推進委員派遣事業　1回 ※各事業ともに東児童館改修工事の状況により変更有。
取組実績	○キラキラポケット　年13回実施（各児童館） ○こぐまひろば　　年22回実施（各児童館） ○わんわんひろば　　年14回実施（各児童館） ○わくわくスポーツの実施　年3回実施（東児童館） 　令和7年5月14日：ふうせんバレー（ニュースポーツ）　参加者数18人／定員20人 　⇒定員に対する参加者の割合　90% 　令和8年2月18日：ドッヂビー（ニュースポーツ）　参加者数19人／定員20人 　⇒定員に対する参加者の割合　95% 　令和8年3月18日：ボッチャ（パラリンピック競技種目）　参加者数12人／定員20人 　⇒定員に対する参加者の割合　60% 　スポーツ推進委員派遣事業　1回 ※東児童館空調設備等改修工事に伴う休館期間：10月1日（水）～12月28日（日）
成果・効果	児童館3館において、年齢発達に適した遊びの場を確保し、乳幼児及び保護者が参加できる事業を実施することにより、心身の健康の増進、知的・社会的能力の向上、情緒豊かな体験をすることで、健全育成を図った。 東児童館のわくわくスポーツについては、改修工事に伴う休館により、年3回実施し、1回はスポーツ推進委員の派遣を依頼するなど、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。
評価（達成度）	**A**

評価凡例	
A	達成度　80%以上
B	達成度　50%以上80%未満
C	達成度　30%以上50%未満
D	達成度　30%未満
―	未実施

課題・対応	保護者が安心して参加できる内容・環境設定を考慮して事業を実施する。 各児童館の参加者の年齢等を考慮し、実施回数・内容等を検討していく。 定員を満たしていないイベントについては、パラスポーツ、ニュースポーツの魅力や運動の効果等を周知することで、参加者の増加に取組んでいく。

No.33

実施事業

スポーツ活動の機会の提供	(7-2)

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○市民スポーツまつりの実施　1回 ○総合スポーツ大会の実施　1回 ○駅伝大会の実施　1回 ○フィールドゴルフ大会の実施　2回 ○四季のウォークの実施　2回 ○走り方教室の実施　1回（市民スポーツまつりに統合） ○ウォーキング講座の実施　1回 ○スロージョグ講座の実施　1回（市民スポーツまつりに統合） ○はむらスポーツフェスティバルの実施　1回（市民スポーツまつりに統合） ○トレーニングルームプログラムの充実
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○トレーニングルームプログラムの充実　317日
取組実績	総参加者数218人/総定員270人 ⇒参加者割合80.7% ○市民スポーツまつりの実施　1回 令和7年10月13日　参加者数延約7,000人 ○総合スポーツ大会の実施　1回 総合開会式　令和7年4月5日 令和7年6月～令和8年3月　19種目　参加者数2,359人（全競技合計） ○駅伝大会の実施　1回 令和8年3月8日　参加者数548人（103チーム） ○フィールドゴルフ大会の実施　1回 令和7年5月24日　参加者数48人、満足度　89.1% 10月25日　雨天中止 ○四季のウォークの実施　2回 令和7年9月20日　参加者数32人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合　80%、満足度　84.6% 令和8年3月22日　参加者数34人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合　85%、満足度　100% ○走り方教室（市民スポーツまつり内）の実施　1回 令和7年10月13日　参加者数86人/定員100人 ⇒定員に対する参加者の割合　86% ○ウォーキング講座の実施　1回（2日間） 令和8年2月21日・28日　参加者数延べ46人／定員60人 ⇒定員に対する参加者の割合　76.7%、満足度　91.6% ○スロージョグ講座（市民スポーツまつり内）の実施　1回 令和7年10月13日　参加者数20人／定員30人 ⇒定員に対する参加者の割合　66.7% ○はむらスポーツフェスティバルの実施（市民スポーツまつりに統合） ○トレーニングルームプログラムの充実　317日　10プログラム
成果・効果	市民の誰もが気軽に参加できるよう各種スポーツイベントを開催したことにより、楽しみながら取り組めるスポーツ活動の機会を提供することができた。 特に、「市民スポーツまつり」については、「はむらスポーツフェスティバル」と統合し、４つのスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実することができた。

<table>
<tr><td rowspan="6">評　価　（　達　成　度　）</td><td rowspan="6">A</td><td colspan="2">評価凡例</td></tr>
<tr><td>A</td><td>達成度　80%以上</td></tr>
<tr><td>B</td><td>達成度　50%以上80%未満</td></tr>
<tr><td>C</td><td>達成度　30%以上50%未満</td></tr>
<tr><td>D</td><td>達成度　30%未満</td></tr>
<tr><td>―</td><td>未実施</td></tr>
<tr><td>課　題　・　対　応</td><td colspan="3">より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、個別に指標を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。</td></tr>
</table>

No.34

実施事業

指導者の養成と資質の向上支援	(7-3)

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○スポーツリーダー養成講習会の実施　1回 ○熱中症対策講習会の実施　1回		
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上		
取組実績	○スポーツリーダー養成講習会の実施　1回（3日間）、満足度　96.6% 令和7年12月20日・令和8年1月10日・25日　参加者数延50人/認定者総数95人 ○熱中症対策講習会の実施　1回 令和7年5月17日　参加者数22人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合　55%、満足度　72.7%		
成果・効果	スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体等の指導者の「養成」と「資質の向上」を支援することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	指標を満たしていないイベントについては、より有効な周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		

No.35

実施事業	
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	(7-4)

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○市民スポーツまつり（オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室）の実施　1回	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上	
取組実績	○市民スポーツまつり（オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室）の実施　1回 令和7年10月13日　S&Dスポーツパーク富士見、S&Dスポーツアリーナ羽村 ・陸上（走り方教室）：　参加者数86人/定員100人 ⇒定員に対する参加者の割合　86% ・ラグビー：参加者数延467人 ・バスケットボール：参加者数延332人 ・テニス/ソフトテニス：参加者数延191人 ・ボッチャ：参加者数延215人 クリケット：参加者数延324人（2028年オリンピック競技大会種目として復活） サッカー：参加者数延95人 柔道：参加者数延65人	
成果・効果	オリンピック競技大会には、様々な種目があることを理解していただくとともに、生涯を通じて実践したいと思えるスポーツを選択するきっかけづくりを提供することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、より多くの種目を提供できるよう、継続して実施していく。	

No.36

実施事業

障害者スポーツの普及啓発	(7-5)

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】 障害福祉課

令和7年度の事業内容	○市民スポーツまつり（オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室）の実施　1回 ○ボッチャはむら大会の実施　1回 ○ボッチャ体験教室の実施　1回 ○障害者スポーツ指導者の養成	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施　1回	
取組実績	○市民スポーツまつり（オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室）の実施　1回 令和7年10月13日　S&Dスポーツパーク富士見 ボッチャ：参加者数延215人 ○ボッチャはむら大会の実施　1回 令和7年11月29日　参加者数76人（20チーム）/定員12チーム ⇒定員に対する参加者の割合　166.7% ○ボッチャ体験教室の実施　1回 令和7年9月13日　参加者数45人、満足度　96.8% ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施　2回 「ボッチャ審判研修会」　令和7年8月31日　参加者数14人 「スクエアボッチャ体験・指導」　令和8年2月28日　参加者数9人	
成果・効果	東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。 ボッチャ体験教室及び大会には、参加者が増加するなど、普及啓発の成果につなげることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。 障害者の意見を踏まえた、障害者スポーツなどを体験する事業を検討していく。	

No.37

実施事業

図書館業務体験事業の実施	(6-1)

【担当課】 図書館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○夏休み司書体験の実施　　小学校高学年対象 ○YAボランティア体験の実施　中学生・高校生対象	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上	
取組実績	○夏休み司書体験 ・実施日：令和7年7月23日（水） ・内容：カウンター業務・書架整理・選書作業等 ・対象者：小学校5・6年生 ・参加者数：7人（5年生6人・6年生1人）/定員：10人 ・定員に対する参加者数の割合：70% ○YAボランティア体験 ・実施日：令和7年7月30日（水）/7月31日（木） ・内容：YAコーナーでの展示とプレゼンテーション等 ・対象者：中学生・高校生 ・参加者数：9人（中学生9人・高校生0人）/定員：8人 ・定員に対する参加者数の割合：125%	
成果・効果	○夏休み司書体験 ・館内見学、カウンター業務、バックヤード作業、選書などの体験を効率よく配置することで、参加者の集中力が増し、より体験感を得られるようにすることができた。 ○YAボランティア体験 YA世代の単なる読書への興味に加え、図書館への興味を喚起することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	○YAボランティア体験では、羽村高校にも案内を送り、高校生の参加を期待したが、参加が得られなかったため、働きかけを継続していく。	

No.38

実施事業

読書への意欲を高めるための講座等の実施	(6-2)

【担当課】 図書館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○絵本関連講座の実施　　1回（2～3回シリーズ） ○児童文学講演会の実施　1回	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　　80%以上	
取組実績	○絵本関連講座 ・実施日：令和8年1月24日（土）/令和8年1月31日（土） ・内容：「紙芝居を作って演じよう」 ・参加者数：10人/定員15人 ・定員に対する参加者数の割合：66% ・参加者の満足度：100% ○児童文学講演会 ・実施日：令和8年3月7日（土） ・内容：「内田麟太郎の世界」 ・参加者数：66人/定員50人 ・定員に対する参加者数の割合：132% ・参加者の満足度：91%	
成果・効果	○紙芝居に興味のある小学生から大人を対象に、オリジナル紙芝居を作製した。制作や表現することの楽しさを感じ、紙芝居に親しんでもらうことができた。 ○絵本作家本人の講演を聞くことで、作品や作家への理解をより一層深めることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	○絵本関連講座については、紙の絵本が持つ魅力を発信し、絵本への興味を通じて継続的な読書活動につなげる役割を果たしていく。 ○児童文学講演会については、令和7年度は絵本原画展との共催が実施できなかった。令和8年度以降は、絵本原画展との共催により、原画の魅力と作家の思いを伝え、読書への意欲を深めていく企画を検討する。	

No.39

実施事業	
読書手帳の活用	(6-3)

【担当課】 図書館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○読書手帳・よむちょの活用 ・読書手帳の配布　小・中学校の新1年生に配布 ・読書手帳表彰　　春期・秋期	
目標（指標）	○読書手帳表彰者数　　10人	
取組実績	○読書手帳配布冊数 小学校 712冊（うち新1年生分382冊） 中学校 470冊（うち新1年生分410冊） 羽村高等学校 20冊 一般 78冊 ○読書手帳表彰者 12人	
成果・効果	○読書手帳への記録がモチベーションとなり、読書活動の習慣化を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	○表彰式で進呈している受賞記念特別利用者カードが図書館利用のモチベーションの一端となっているため、継続して進呈する。 ○読書手帳の活用は、表彰以外にも、個人の読書意欲を後押する効果が期待できるため、引続き事業を継続する。	

No.40

実施事業

図書館資料活用の推進	(6-4)

【担当課】 図書館

【関連課】

令和7年度の事業内容	○図書紹介ポップ展示の実施 ○調べ学習や読書等のための図書の団体貸出 ○市図書館ウェブサイト及びLINEによる読書情報の充実 ○読書啓発パンフレット（ブックリスト）等の発行		
目標（指標）	○図書紹介ポップ展示の実施回数　20企画		
取組実績	○図書紹介ポップ展示の実施 1回 ・「YAボランティア体験」事業の一環として実施 ○団体貸出件数（調べ学習、学校おはなし会等含む） 86団体 3,142冊 ・団体：小・中学校、幼稚園・保育園・学童・放課後子ども教室（はむらっ子広場）等 ○メールマガジンの発信回数（毎週金曜日） 17回 ○公式Xの発信回数　79回 ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」（児童向け図書紹介パンフレット） 2回 ○「ヤングスクラッチ」（YA向け図書紹介パンフレット） 2回		
成果・効果	○図書紹介ポップは、来館者への事業周知とともに、具体的な図書紹介の一助となった。 ○調べ学習のための貸出については、季節的、専門的な図書を貸出すことによって、授業に役立てることができた。 ○団体貸出については、小中学校や保育園、放課後等デイサービスなど、様々な団体に本を貸出し、図書館資料の活用を図ることができた。 ○メールマガジンについては、7月25日で終了とし、公式Xへ移行した。公式Xでは旬な情報やイベント情報を画像付きで周知することができ、図書館利用者に対し、より視覚的な情報を発信することができた。 ○「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」により、重要な紙媒体での情報発信ツールとして、図書館資料の情報を届けることができた。		
評価（達成度）	**D**	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	指標としたポップ展示以外に、様々な取組を実施した。図書館からの情報発信については、紙媒体とデジタル情報を併用し、本と図書館の魅力を継続的に発信していく。周知方法や情報掲示を行う場所などを工夫し、新たな利用につながるよう取組を進めていく。		

No.41

実施事業

「家読（うちどく）」事業等の実施	(2-5)

【担当課】 図書館

【関連課】 こども家庭センター

令和7年度の事業内容	○「家読（うちどく）」の推進 ○ブックスタート事業の実施（絵本の配布・啓発、セカンドブックスタート（啓発））		
目標（指標）	○家読（うちどく）セットの貸出　70セット ○BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発　12回		
取組実績	○「家読（うちどく）」の推進 ・家読（うちどく）セットの貸出　49セット ・図書館アンケートにおいて、「家読（うちどく）」に関する項目を設定 ○ブックスタート事業 ・乳児への絵本の配布　264冊（こども家庭センター事業） ・BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発　12回　253組 ・セカンドブックスタート啓発パンフレットの配布　374部		
成果・効果	○家庭における良好な読書環境について、保護者に対して啓発することができた。 ○BCG接種時に「利用者登録票」を配布することで、図書館利用へつなげることができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		—	未実施
課題・対応	○「家読（うちどく）」については、利用の促進を図るため、展示場所の変更や周知方法の改善を図る。 ○一連のブックスタート事業については、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。		

No.42

実施事業

学校と連携した読書活動への支援	(2-6)

【担当課】 図書館

【関連課】 学校教育課

令和7年度の事業内容	○学校おはなし会やブックトーク等の実施 ○学校図書館司書連絡会を通じた情報連携		
目標（指標）	○おはなし会などでの学校への出張回数　55回		
取組実績	○学校おはなし会・ブックトークの実施 52クラス ○学校図書館司書連絡会への参加　3回 ○返却用ブックポストの設置による市図書館収蔵資料返却の継続試行 ・試行実施校：羽村東小学校…毎週金曜日回収 回収冊数 18冊 羽村第三中学校…毎週水曜日回収 回収冊数 11冊		
成果・効果	○学校おはなし会・ブックトークについては、図書館ボランティアの協力により、小学校全校で実施することができ、子供たちも意欲的に参加することができた。 ○学校との連携を目指して設置している返却用ブックポストは、利用実績が低調であった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		—	未実施
課題・対応	○学校おはなし会・ブックトークは、学校のニーズに応えながら、今後も継続して実施していく。 ○学校と連携した市図書館の本の利用は、児童・生徒のリクエストの受付方法、学校への貸出図書の配送方法、学校内での貸出図書の受渡し方法などについて、引き続き検討が必要である。		

No.43

実施事業

国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	(9-1)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○国際理解講座　　1事業 ○交流事業　　1事業 ○ゆとろぎ市民講座　　2事業	
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上	
取組実績	定員に対する参加者　61% 参加者の満足度　89% ○国際理解講座　1事業 ・中央大学学術講演会「ラーメンと人類史」　参加者数30人／定員60人：50%　満足度：74% ○交流事業　1事業 ・子ども国際交流音楽祭　参加者数545人／定員854人：63%　満足度：92% ○ゆとろぎ市民講座　2事業 ・生涯学習講演会　参加者数58人／定員60人：96%　満足度：98% ・久住昌之のふらっとグルメｉｎはむら　参加者数330人／定員854人：38%　満足度：92%	
成果・効果	食文化や音楽を通じた国際理解、様々な学習・芸術活動を通じた交流の機会を提供することができた。	
評価（達成度）	B	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	定員に対する参加者数が少ない事業があった。引き続き、各事業において国際交流と多文化共生につながる参加したくなる「テーマ」を見極め、事業を企画する。	

No.44

実施事業

高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	(9-4)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○中高年を含めた全年齢向け講座の実施　20事業 ○趣味や仲間づくりのための体験交流会の実施　1事業
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上 ○参加者の満足度　80%以上
取組実績	定員に対する参加者　69% 参加者の満足度　80% ○中高年を含めた全年齢向け講座の実施　19事業 ・生涯楽習祭　延べ参加者128人　満足度：84% ・生涯学習講座「Youtology　羽村の農家さんとトーク」 参加者数28人／定員50人：56%　満足度：100% ・久住昌之のふらっとグルメｉｎはむら 参加者数330人／定員854人：38%　満足度：92% ・FILM SCORE PHILHARMONIC ORCHESTRA コンサート★ 参加者数792人／定員854人：93%　満足度：91% ・杏林大学連携企画講座・公開講演会　参加者数2回平均47人／定員60人：78% ・日野自動車連携子ども講座「とばしてみよう！！ペットボトルロケット！」 参加者数14人／定員20人：70%　満足度：100% ・中央大学学術講演会「ラーメンと人類史」 参加者数30人／定員60人：50%　満足度：74% ・東洋大学講師派遣事業　ゆとろぎ市民講座「記憶と忘却のメカニズム」 参加者数44人／定員50人：88%　満足度：85% ・ゆとろぎ文学講座　近・現代編「谷崎潤一郎『春琴抄』を味読する」 参加者数2回平均24人／定員50人：49% ・ゆとろぎ身近なサイエンス講座「新型コロナのその後…感染症を防ぐ免疫の仕組みと健康を考える」　参加者数47人／定員60人：78% ・ゆとろぎ経済講座Ⅲ財政編「財政は私たちの生活とどう関わっているのか？」 参加者数27人／定員50人：54% ・ゆとろぎ近・現代史講座「日本電力産業の発展で産業・国民生活はどう豹変してきたか？」 参加者数34人／定員50人：68% ・ゆとろぎ先端テクノロジー講座「クルマはここまで進化している…安全制御システムの過去・現在・未来」　参加者数45人／定員50人：90% ・我が街再発見シリーズ「市内の寺社仏閣、名勝・旧跡などを知ろう」 参加者数43人／定員50人：86%　満足度：70% ・我が街羽村を知るシリーズ　企業出前講座 参加者数31人／定員50人：62%　満足度：87% ・夏休み子ども講座　　画家の酢平☆（スッペ）さんと一緒に丸だけで描いてみよう！ 参加者数17人／定員20人：85%　満足度：94% ・人権講座「どうする！いじめ、不登校、子供の貧困」　参加者数22人／定員50人：44% ・環境講座「強まる地球温暖化から食糧を考える…今私たちが考えること」 参加者数40人／定員50人：80% ・ゆとろぎ健康講座「ここまで来たがん治療＝がん発生の仕組みと予防・治療の最新情報を知る＝」　参加者数53人／定員60人：88%　満足度：86% ○趣味や仲間づくりのための体験交流会の実施　1事業
成果・効果	ゆとろぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施することができた。

評　価　（　達　成　度　）	B	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課　題　・　対　応	定員に対する参加者数が少ない事業があった。引き続き、各事業において参加したくなる「テーマ」を見極め、事業を企画する。		

No.45

実施事業

健康に関する講座等の実施	(9-5)

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】 健康課

令和7年度の事業内容	○運動教室の実施　1回
目標（指標）	○定員に対する参加者　80%以上
取組実績	○健康運動教室の実施　2回 ・レッツチャレンジ！はじめてのエアロビクス♪ 令和7年8月2日～30日（5回）参加者32人（延べ120人）／定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合　160%、満足度　90.9% ・レッツチャレンジ！はじめてのステップエクササイズ♪ 令和7年11月1日～29日（5回）参加者20人（延べ71人）／定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合　100%、満足度　92.8%
成果・効果	多くの人に参加いただけるよう、初心者向けのどなたでも参加やすい土曜日の連続講座を実施したことで、運動の楽しさを知ってもらい、健康づくりの運動を継続できるよう学習機会を提供することができた。
評価（達成度）	A

評価凡例	
A	達成度　80%以上
B	達成度　50%以上80%未満
C	達成度　30%以上50%未満
D	達成度　30%未満
―	未実施

課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。

No.46

実施事業

青年学級事業の実施	(9-11)

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○青年学級の実施　12回　※現会員10人		
目標（指標）	○登録会員の50%以上の参加（各回）		
取組実績	○青年学級の実施　12回 ○登録会員数　10人 ○参加率　89% ○主な活動内容 農業体験（植え付け・収穫）、スポーツ・レクリエーション（ボウリング、フォークダンス、リトミック等）、創作（書道）、遠足		
成果・効果	ボランティアや地域の方の協力を得て、障害のある方の学びの提供として青年学級を開催し、様々な体験機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、ボランティアや地域の方の協力を得ながら、青年学級を実施していく。		

方向性４　生涯学習の支援

No.	実施事業名	担当課	評価
47	文化団体の活動支援	生涯学習推進課	A
48	スポーツ団体の活動支援	スポーツ推進課	A
49	団体への補助金の交付	生涯学習推進課 スポーツ推進課	A
50	団体等の活動情報の収集・提供	地域振興課 生涯学習推進課	A
51	団体等の情報発信支援	生涯学習推進課	A
52	生涯学習関連情報の発信	生涯学習総務課	A
		生涯学習推進課	A
		スポーツ推進課	A
53	生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	生涯学習推進課	A
54	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	生涯学習推進課	A
55	生涯学習コーディネート機能の運用	生涯学習推進課	A
56	学校施設の計画的な改修工事の実施	生涯学習総務課	A
57	〔新規事業〕１人１台端末の更新及びネットワーク環境の充実	学校教育課	A
58	〔新規事業〕生涯学習センターゆとろぎの計画的な設備更新	生涯学習推進課	A

No.47

実施事業

文化団体の活動支援	（10-1）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○羽村市文化協会の活動支援 ○ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとろぎ開館日数　317日 ○各種団体等への活動場所の提供 　社会教育関係団体等の施設利用件数　1,200件		
取組実績	○生涯学習センターゆとろぎ開館日数 317日 ○羽村市文化協会の活動支援 　施設使用料の減免、補助金の交付 ○ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援 　施設使用料の減免、補助金の交付 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援 　施設使用料の減免、補助金の交付 　社会教育関係団体等の施設利用件数　1,256件		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。 また、社会教育関係団体や羽村市文化協会加盟団体について、団体・サークルガイドによりPRを行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。		

No.48

実施事業

スポーツ団体の活動支援	（10-2）

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○羽村市スポーツ協会の活動支援 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぽの活動支援 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援		
目標（指標）	○スポーツセンター開館日数　317日 ○各種団体等への活動場所の提供 　社会教育関係団体等のスポーツセンター利用申請件数　1,300件		
取組実績	○羽村市スポーツ協会の活動支援 　施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぽの活動支援 　施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援 　施設使用の優先予約、施設使用料の減免 　社会教育関係団体等のスポーツセンター利用申請件数　2,743件 ○スポーツセンター開館日数　317日		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。 施設使用の優先予約や施設使用料の減免については、負担の公平性・公正性の観点から支援の継続方法について研究していく。		

No.49

実施事業

団体への補助金の交付	（10-3）

【担当課】 生涯学習推進課、スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○文化・スポーツ団体や市民活動団体等へ補助金を交付する。		
目標（指標）	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市スポーツ協会への補助金の交付		
取組実績	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体　3団体 交付額75,000円（3団体合計） ・スポーツ・レクリエーション団体 4団体 交付額80,000円（4団体合計） ○羽村市文化協会（加盟団体数99）への補助金の交付 交付額571,000円 ○羽村市スポーツ協会への補助金の交付 交付額750,000円		
成果・効果	事業に要する経費の一部を補助金として交付し団体の活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	継続して支援していく。		

No.50

実施事業

団体等の活動情報の収集・提供	（10-5）

【担当課】 地域振興課、生涯学習推進課

【関連課】 スポーツ推進課

令和7年度の事業内容	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行（年1回）・配布		
目標（指標）	○市公式サイトへの掲載、市内公共機関等への配布（150部）		
取組実績	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行（年1回）・配布（全50部）市内公共施設（市役所1階受付、プリモホールゆとろぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、コミュニティセンター等） ○市公式サイトへの掲載 今年度よりガイドの運用について、関係部署と協議した結果、経費削減のためペーパーレス化や登録団体の掲載内容が変更となった際に柔軟に対応ができるよう、市公式サイトでの運用を主流とする方針に改め、配布部数を減らした。		
成果・効果	社会教育関係団体や市民活動団体の活動情報を市民に提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	事業を実施するにあたり、市民への周知が課題であり、ガイドを広く周知するためのチラシ及びポスターを関連部署の窓口に設置し、掲示物に二次元コードを掲載して、スマートフォンからいつでもどこでもガイドを活用できるようにする。		

No.51

実施事業

団体等の情報発信支援	（10-6）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○学習文化情報コーナーの運用		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとろぎ開館日数　317日 ○情報発信場所の提供　100件		
取組実績	○開館日数（学習文化情報コーナーの運用日数）317日 ○学習文化情報コーナーの運用 社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示 情報発信場所の提供 66件		
成果・効果	ゆとろぎ館内の学習文化情報コーナーに、社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、社会教育関係団体等の情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。		

No.52

実施事業	
生涯学習関連情報の発信	（10-8）

【担当課】 生涯学習総務課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○「はむらの教育」の発行	
目標（指標）	○6回発行	
取組実績	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数　計159,600部 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民感想・意見を募集している。 ○より良い記事の掲載に向け、内部委員会を年2回実施した。 ○時季に合わせた記事や写真を掲載するなど、読みやすい工夫を行った。	
成果・効果	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を市民に向けて、定期的に発信することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　目標に対する達成度　80%以上 B　目標に対する達成度　50%以上80%未満 C　目標に対する達成度　30%以上50%未満 D　目標に対する達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発等を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、引き続き見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。	

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○ゆとろぎイベントガイド発行 ○はむらまなび便り発行 ○ゆとろぎホームページの更新（随時）		
目標（指標）	○ゆとろぎイベントガイド　6回発行 ○はむらまなび便り　6回発行		
取組実績	○ゆとろぎイベントガイド発行 6回 ○はむらまなび便り発行　廃止 ○ゆとろぎホームページの更新 　はむらまなび便りは、講座受講者へのアンケート等から利用者が少なく周知効果が低いことが分析できたため廃止することとし、他の広報媒体を効果的に活用することで、より多くの方に情報が届くよう、情報発信力の強化を図ることとした。		
成果・効果	ゆとろぎイベントガイドを発行し、公式サイト「ゆとろぎイベント情報」の更新により、市民に生涯学習の情報を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、ゆとろぎイベントガイドを発行するとともに、市公式サイトの「ゆとろぎイベント情報」を適宜更新し、市民に生涯学習の情報を提供していく。		

【担当課】 スポーツ推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○はむら市スポーツ推進委員だよりの発行		
目標（指標）	○2回発行		
取組実績	○2回発行（A4カラー両面） 　第80号発行（令和7年7月15日）1,300部 　第81号発行（令和8年2月1日）1,300部 　町内会自治会回覧用を配布、市公式サイトに掲載 　西武信用金庫（2か所）及び日本郵便株式会社（5か所）との包括連携協定により配架		
成果・効果	市民に、スポーツ推進委員の活動等についての情報を発信することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	多くの市民に御覧いただけるよう配布先や閲覧方法を検討し、年2回の発行を継続していく。		

No.53

実施事業

生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	（10-8）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○出前講座メニューを掲載した案内の発行　1回 ○「はむらの教育」への紹介記事掲載　1回		
目標（指標）	○出前講座の利用回数　15回		
取組実績	○出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 ○「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回 ○町内会・自治会等への「出前講座メニュー」の配布 1回 ○出前講座の利用回数 15回 ○主な出前講座メニュー 「犯罪被害の防止について」「あなたも「健康はむらさん」になろう」「いきいき子育て応援します！」		
成果・効果	出前講座について、利用の促進を図り、利用につなげることができた。 市民の団体が主催する学習会などに、市職員や官公署等の職員が講師として出向き、行財政運営や子育て、健康に関することなどの講座を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、関連部署や官公署と連携し、出前講座を実施していく。また、効果的な事業の広報周知について検討していく。		

No.54

実施事業

企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	（10-10）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携事業の実施
目標（指標）	○10事業程度実施
取組実績	○杏林大学、国立音楽大学、公益財団法人青梅佐藤財団、日野自動車株式会社等企業との 連携事業の実施 16事業 ・杏林大学連携企画講座　参加者数43人 ・杏林大学公開講演会　参加者数51人 ・国立音楽大学 連携協定記念コンサート　参加者数275人 ・国立音楽大学 2025年度マネージメント実習 修了演奏会　参加者数102人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学オーケストラ演奏会　参加者数660人 ・青梅佐藤財団 神津善行音楽文化講座　参加者数602人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学ブラスオルケスター演奏会　参加者数：632人 ・青梅佐藤財団 市民コンサート（ゲーデ弦楽四重奏団演奏会）　参加者数：635人 ・青梅佐藤財団 子どもＩＴ未来塾　参加者数22人 ・青梅佐藤財団 ニューイヤーコンサート　参加者数676人 ・青梅佐藤財団 梯剛之ピアノリサイタル　参加者数383人 ・武蔵野美術大学 共同企画展覧会 羽村ゆとろぎアーツプロジェクト2025 参加者数283人（関連イベント含む） ・日本航空高等学校石川青梅キャンパス 能登半島復興チャリティパフォーマンス　参加者数755人 ・日本航空高等学校石川青梅キャンパス　文化祭特別企画ふれあいステージ　参加者数340人 ・日野自動車連携子ども講座「とばしてみよう！！ペットボトルロケット！」　参加者数14人 ・我が街羽村を知るシリーズ　企業出前講座　参加者数31人
成果・効果	包括連携協定を締結している杏林大学、国立音楽大学、またゆとろぎでの事業に協力いただいている公益財団法人青梅佐藤財団や武蔵野美術大学、日野自動車等と連携して、音楽鑑賞、講演、子供向け体験事業を実施することができた。 また、2月27日付けで学校法人日本航空学園と包括連携に関する協定を締結し、今後、両者で連携して文化の発展等に取り組むこととした。
評価（達成度）	A

評価凡例	
A	達成度　80%以上
B	達成度　50%以上80%未満
C	達成度　30%以上50%未満
D	達成度　30%未満
―	未実施

課題・対応	引き続き、杏林大学、国立音楽大学、日本航空学園、財団、大学、企業との連携した事業を実施していく。

No.55

実施事業	
生涯学習コーディネート機能の運用	（10-13）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○生涯学習に関する相談の対応（コーディネート） ○生涯学習に関する情報収集・提供	
目標（指標）	○相談者への情報提供及び講師等との調整対応 ○生涯学習情報の更新（随時）	
取組実績	○生涯学習コーディネーターの配置 ○生涯学習に関する相談の対応（コーディネート） 主な相談内容…市民の会の企画事業など、市民が企画する学習講座の講師提案や調整など ○生涯学習に関する情報収集・提供 団体・サークルガイドの発行、市公式サイトへの掲載	
成果・効果	コーディネーターが、市民の助言や各種調整などを行い、市民の生涯学習活動の支援を行うことができた。 団体・サークルガイドを発行し、市民に生涯学習に関する情報を提供することができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A 達成度　80%以上 B 達成度　50%以上80%未満 C 達成度　30%以上50%未満 D 達成度　30%未満 ― 未実施
課題・対応	引き続き、団体・サークルガイドを作成し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。	

No.56

実施事業

学校施設の計画的な改修工事の実施	（10-15）

【担当課】 生涯学習総務課

【関連課】 建築課

令和7年度の事業内容	○羽村市学校施設長寿命化計画の推進 ・小学校体育館改修工事（小作台小）		
目標（指標）	学校施設の適正な維持管理のため、改修等工事を実施		
取組実績	・小学校体育館改修工事（小作台小） 小作台小学校体育館の改修工事を実施した。 【建築工事】 体育館床改修工事、屋上防水及び外壁改修工事さび部塗装等劣化部分補修 【電気設備工事】 照明設備のLED化		
成果・効果	学校施設の改修工事を実施することで、児童の教育環境の改善と災害時避難所としての機能強化を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	今後も、関係部署、工事契約業者等と密な連携を取り、工事の進捗管理を徹底する。 また、学校施設は全体的に老朽化が進行していることから、今後も国庫補助金や東京都補助金といった特定財源を活用した計画的な改修により学校施設の環境改善を図り、適正な維持管理に努めていく。		

No.57

実施事業

〔新規事業〕1人1台端末の更新及びネットワーク環境の充実	（10-17）

【担当課】 学校教育課

【関連課】

令和7年度の事業内容	○〔新規事業〕国の「GIGAスクール構想　第2期」に基づき、共同調達による1人1台端末の更新を行う。 　また、各学校において、ネットワークアセスメント＊を実施し、結果に基づいたネットワーク環境の改善に取り組む。	
目標（指標）	○1人1台端末の更新：4,337台配備 ○ネットワークアセスメントの実施　10校 ○ネットワークアセスメントの結果に基づく、ネットワーク環境の改善	
取組実績	○1人1台端末の更新：4,242台配備（全児童・生徒分3,689台、予備機553台） 　※児童・生徒数の減少により配備台数を見直したため、配備台数は減少 ○ネットワークアセスメントを実施　10校 ○ネットワークアセスメントの結果に基づき、通信速度などのネットワーク環境を改善	
成果・効果	小・中学校の児童・生徒が使用する1人1台端末の更新を行うとともに、ネットワーク環境を整備し、通信速度の向上を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例 A　達成度　80%以上 B　達成度　50%以上80%未満 C　達成度　30%以上50%未満 D　達成度　30%未満 ―　未実施
課題・対応	適切な運用を行うとともに、引き続き、環境を生かした学校DXを推進していく。	

No.58

実施事業

〔新規事業〕生涯学習センターゆとろぎの計画的な設備更新	（10-18）

【担当課】 生涯学習推進課

【関連課】 建築課

令和7年度の事業内容	○〔新規事業〕ホール空調設備の部分更新		
目標（指標）	○ホール空調設備（空冷チラーユニット圧縮機）の交換等		
取組実績	ホール空調設備（空冷チラーユニット圧縮機）交換修繕		
成果・効果	大小ホール等で利用する空調機器の老朽化に対応し、部品交換を行ったことで、機器故障を未然に防ぐことが出来た。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度　80%以上
		B	達成度　50%以上80%未満
		C	達成度　30%以上50%未満
		D	達成度　30%未満
		―	未実施
課題・対応	引き続き、設備の状況を把握し、計画的に予防保全に努めていく。		

４　点検・評価に関する学識経験者からの意見

相 原　雄 三　　（明星大学教育学部教育学科 特任教授）

今回の羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の対象となる事業は、令和７年度において実施された 58 の主な事務事業です。令和７年度の事務事業は、令和６年度の 60 事業より２事業減っており、社会や市民のニーズに応えるための事務事業についての見直し、統合などが行われていると推察されます。新たな事務事業を立ち上げる上でも、「スクラップ＆ビルド」の考え方は大切であり、今後も、首長部局の施策展開の方向を鑑みながら新たな取組を行っていくことを期待します。

令和７年度の事務事業については、自己評価Ａが 49 事業、自己評価Ｂが７事業、自己評価Ｃが１事業、自己評価Ｄが１事業となっており、全体的に見て事務事業が計画通りに展開されたと考えられます。

ここでは、羽村市教育委員会の教育目標の実現を図るために定められた４つの基本方針に則って実施された、いくつかの事業について意見を述べます。

１　子どもたちの育成

No.１　子育て関係講座等の充実

羽村市立小・中学校 PTA 連合会研修部と連携して、「あそびがつなぐ親子の時間−令和の教育、子供への接し方の見つめ直し−」をテーマにして、家庭教育セミナーを開催したことは大変意義あることです。

今回は、ボードゲームを通じて、遊びから生まれる家庭内コミュニケーションについて学ぶ機会を設けました。スマホやゲーム機を使ってのコミュニケーションや遊びが当たり前になった時代に、同じテーブルを囲んで顔を見ながら遊び、自然と会話や笑いが生まれる遊びの効用を知る上で貴重な取組であったと考えます。実績については、参加率は 26%でしたが、参加者の満足度は、大人も子供も 100%となっていることから、その内容はよいものであったことが伺えます。

参加率を高めていくためにも、今回は３月の休日開催でしたが、実施時期の設定をいつにしていくかということを検討していく必要があるかと考えます。また、今後においても、テーマや内容については、対象となる参加者のニーズや家庭教育に対する社会の要請などをできるだけリサーチして決定してくことを期待します。

No.２　家庭教育関連情報の提供と啓発

令和５年度に、家庭教育のポイントをまとめた冊子を各小学校で行われる「就学時検診」のときに配布するだけではなく、市公式サイトに二次元コードを掲載して、スマートフォンから家庭教育に関する情報にアクセスして、「いつでも、どこででも活用できる」ように

改善しました。

この二次元コードを使ってのアクセス数について、令和７年度は 339 件あり、昨年度の 123 件から増えていて、閲覧数が伸びていることは喜ばしいことです。引き続き、アクセス数を把握して、「活用の頻度」という視点からも本事業の成果を検証していただくことを期待します。

No.４　小中一貫教育の推進

2020 年（令和２年度）～2024 年（令和６年度）年度までを計画期間とした『第三次羽村市小中一貫教育基本計画』を踏まえ、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を立ち上げて、令和５年度には義務教育９年間を通した各教科等のカリキュラムの在り方をまとめました。さらに、令和７年度には、市教育研究会と連携を図り、その小中一貫教育等カリキュラム等開発委員会で作成した資料等を活用した授業を行ったとのことです。

今後は、こうした取組を基盤にして、『第四次羽村市小中一貫教育基本計画』を策定する際には、１人１台学習用端末を活用した「個別最適な学び」を小学校と中学校の各段階において、具体的にどのように取り組んでいくのか、その一貫性や継続性を視点にして検討し、令和９年３月に告示予定の次期学習指導要領の移行期間には授業実践できるようにしていくことを期待します。

No.7　ICT 機器を活用した教育の推進

令和７年度は、これまでの１人１台学習用端末の配備や GIGA スクールサポーターの配置(一人)に加えて、市内 10 校に ICT 支援員の配置が行われ、学校における ICT 機器を活用した教育を推進するための体制は整ったと考えます。また、令和６年度からは、一人一人の子供の理解度や学習進度に応じた学び進められるように、「学習支援ドリルの運用」が開始されました。

令和９年３月に告示予定の次期学習指導要領においては、「個別最適化の学び」の観点からも「一人一人の理解度や学習進度に応じた学び」が求められると考えます。そのため、「学習支援ドリル」の活用については、各小・中学校が教育委員会に作成・提出する「届出教育課程」の中の「指導の重点」といった項目において、指導の具体を明記させるなどして、各学校における実践的な指導の展開を明らかにさせるような取組を期待します。また、「学習支援ドリル」を活用した学びがどの程度行われているのか、また、「学習支援ドリル」の効果的な活用の取組としてどのような事例があるのかなどを把握するとともに、市内の小・中学校で活用事例を共有して、一人一人の児童・生徒の学習の進度や理解度に応じた学びの充実を図っていく取組も併せて行っていくことを期待します。

No.10 部活動の推進

中学校の部活動の地域展開について、国は「令和５年度から令和７年度までの３年間を改革推進期間と位置付けて、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めること」また、「令和８年度から令和13年度の次期改革期間内には、休日については全ての学校部活動において地域展開（地域移行）を目指すこと」という方向性を示しています。

このことを踏まえて、令和７年度から、学校部活動は「TEAM はむら」として、地域展開をしていくというコンセプトをもち、着実に取り組んでいることが大変素晴らしいです。

例えば、令和７年度の取組実績を見ると、当初の目標を超えた結果になっています。具体的には、「部活動の地域展開の実施」については当初は３部活動の実施が目標でしたが、実績としては４部活動の実施となりました。また、「既存部活動の地域展開の準備」については当初は６部活動の実施が目標でしたが、実績としては７部活動の実施となりました。

こうした取組実績の向上をもたらしたのは、部活動地域展開通信の発行や公式サイトを通じて、学校・保護者・地域等に対して適切に情報発信をしてきたことが効果的であったと考えられます。今後は、「拠点校方式等」での部活動の実施が円滑に進むようなシステムづくりを行うとともに、部活動運営における事故等の防止に向けた指導者講習会のさらなる充実を図っていくことを期待します。

No.14　教育相談体制の充実

本事業は、児童・生徒の不登校等の未然防止・早期対応を図るためのものです。令和５年度は、児童・生徒に配備された１人１台学習用端末を活用して「心のアンケート」を実施したものの、アンケート結果を年度内に学校へ提供できず、翌年度の提供となってしまったため、評価(達成度)が「C」でした。そのため、令和６年度は、実施体制を教育相談室から学校教育課に改め、アンケートの実施から内容の把握・対応までの迅速化を図ったことで、評価(達成度)が「A」と好転し、さらに、令和７年度の評価(達成度)も「A」となっていることは素晴らしいことです。

全児童・生徒の「心のアンケート」の内容を紙媒体で実施し、その記述内容等から個々の児童・生徒の不安や悩みを迅速に把握し、早期対応を図ることの第一義的な責任は学校にあることを常に発信し、着実に対応が行われるような働きかけをお願いします。また、指導主事が学校訪問をして、「心のアンケート」の取組状況やその保管状況を確認しているという取組が行われていることも素晴らしいことです。

引き続き、子供の心のケアに向けて、市教育委員会と学校が連携・協力して、強固な取組が行われていくことを期待します。

2　地域資源の活用

No.20　地域学校協働本部の活用

学校と地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制の充実を図るために、コミュニティ・スクールを全校で導入し、令和６年度には、「活動推進委員」を全 10 校に配置し、着実に体制整備を行ってきました。また、「はむらの地域学校協働活動ハンドブック」の作成・公表や「はむらの教育」「はむらのコミュニティ・スクール通信　はむこみ」などを通じて事業周知も丁寧に行ってきました。

しかしながら、各学校におけるホームページを閲覧すると、コミュニティ・スクール委員会等の開催状況やその記録などが掲載されている学校とそうでない学校があり、学校によってはその運営についての意識化があまり図られていない状況があると推察されます。こうしたことから、運営の趣旨を各学校が十分に理解して活動を推進させ、地域に密着した学校教育が充実していく様子を確実に発信できるようにしていくことを期待します。

No.26　展示説明員の育成

玉川上水は、国指定の文化財として大変貴重な遺跡です。都内の学校では、小学校第４学年の社会科の内容「地域の発展に尽くした先人の働き」を学習する際に、「玉川上水と玉川兄弟」を教材として扱う場合が多いことから、郷土博物館への社会科見学もその学習の一環として訪れていることが伺われます。しかし、令和４年度からの社会科見学来校数を見てみると、令和４年度が 129 校、令和５年度が 111 校、令和６年度が 98 校、令和７年度が 95 校と年々来校数が減少しています。

今後、玉川上水を直接見学する学校数が増えて、来校数が回復することを期待しますが、もし、来校数が減少した場合の対応策として、児童一人一人に学習用端末が配備されていることから、オンラインによる見学活動など、現地に来なくても、玉川上水を身近に感じ、学ぶことができるような取組について研究していただきたいです。また、展示説明員による学校への「出前授業」を企画し、直接見学できなくても「玉川上水」の歴史的な価値や役割を社会科の授業で解説し、子供たちが休日等に保護者とともに見学に訪れることへの導線をつくっていくような取組を期待します。

3 多様な学習の展開

No41　家読（うちどく）事業等の実施

ブックスタート事業は、絵本を通して親子が言葉と心を通わすかけがえのないひとときをもつことを応援する価値ある事業です。令和６年度の評価(達成度)は「A」でしたが、令和７年度の評価(達成度)は「B」でした。これは、家読（うちどく）セットの貸出目標（指標）を 70 セットとしましたが、令和７年度の貸出は 49 セットという結果で

あったことや令和６年度の貸出セット(59 セット)と比べても減少していることによるものと考えられます。

今後の課題・対応については、「利用促進を図るために、展示場所の変更や周知方法の改善を図る」とのことです。その際、令和６年度から始めた図書館アンケートを用いた「家読(うちどく)」に関するアンケートを用いて、その認知度や活用度を分析し、改善に役立てていくことを期待します。また、「家読(うちどく)」の事業についての理解・啓発を図るために、これまでの BCG 接種時の絵本の読み聞かせの活動は継続していただくとともに、未就学児の保護者等への理解・啓発を行うために、幼稚園や保育園と連携しながら理解・啓発する取組についても検討していただきたいです。

４　生涯学習の支援

No.53 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

市民一人一人が生涯にわたって学習することができる環境を整え、豊かで健康的な市民生活を送る上で必要な新たな知識や技能等を学ぶことができる「出前講座」の取組は大切です。令和７年度の目標（指標）を「出前講座の利用回数 15 回」と設定し、取組実績が「利用回数が 15 回」、評価(達成度)は「A」という結果は素晴らしいです。しかし、令和６年度の利用回数（21 回）と比較すると減少しています。こうしたことから、現状の取組を改めて見直し、利用回数を増やしていくために、市民への周知の方法を新たに考えていく必要があると思います。例えば、生涯学習推進課の所管事業である「中高年を含めた全年齢向け講座」やスポーツ推進課の所管事業である「運動教室」などでも、「出前講座メニュー」を配布し、その取組の案内をするなどして広報・周知をしていくことが考えられます。ぜひ、具体的に広報・周知の方法を検討していただきたいです。

次に、事務事業の成果や課題を明らかにして、今後の対応の方向性を考えていく際に留意していただきたいことを述べます。

それは、これまでも意見してきた「事務事業の評価(達成度)に関わる『目標(指標)』の設定の仕方」についてです。具体的には、令和４年度から令和７年度にかけて、「定員に対する参加者 80%以上」という量的な評価とともに、「参加者の満足度 80%以上」という質的な評価も加味するように改善してきました。

しかし、そういう視点で『目標(指標)』が設定されていない事業がまだ見受けられます。例えば、「参加者の満足度 80%以上」という質的な評価を設定できる事業としては、No.16「市内事業所等と協力した社会体験事業の実施」、No.18「図書館ボランティアの育成と支援」、No.22「企画展の開催」、No.32「子供の運動能力の向上を促す遊びの提供」、No.33「スポーツ活動の機会の提供」、No.34「指導者の養成と資質の向上支援」、No.35「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興」、No.36「障害者スポーツの普及啓発」、No.37「図書館業務体験事業の実施」、No.45「健

康に関する講座等の実施」などが考えられます。

引き続き、事業の成果や効果といったことを評価するための『目標(指標)の設定』の仕方について検討し、多面的に事業評価を行うことで改善の方向性を具体的に検討していくというスタンスを「事務事業の点検及び評価」において重視していっていただきたいです。

また、令和６年度の「事務事業の点検及び評価」の際にも意見しましたが、各事務事業の課題の改善に向けた対応策について、当該年度においてどのように取り組んだのかということも、例えば、「成果・効果」の欄に付記するなどして「Ｐ−Ｄ−Ｃ−Ａ」の取組が分かるようにしていくことも検討していただき、常に市民の信託に応える「事務事業の点検及び評価」の充実につなげていくことを期待しています。

渡邉　俊　　（杏林大学外国語学部 講師）

本点検及び評価対象事業は、令和７年度に実施された 58 の事務事業です。全 60 事業であった令和６年度から２事業の減少は見られるものの、市民のニーズや刻々と変化する社会への対応のゆえの的確な選択と集中の結果であり、羽村市教育委員会の教育施策の規模・内容は順調に展開されていると言えます。

本報告書には、羽村市教育委員会の教育目標に基づいて定められた４つの基本施策に掲げられた主な事務事業について点検および評価が記載されています。全体として、評価されるべき成果を上げていると思われますが、以下では、４つの方向性ごとにいくつかの事務事業について意見を述べます。

１　子どもたちの育成

No.１　子育て関係講座等の充実

この事業は「あそびがつなぐ親子の時間―令和の教育、子供への接し方の見つめ直し―」をテーマに実施された家庭教育セミナー（子育てや講座）です。デジタルではなく、アナログなボードゲーム遊びを通じて、親と子供のコミュニケーションを（再）活性化させる機会を創出しようという意義深いセミナーです。

定員 15 組に対し４組の参加となり、参加率は昨年度の 55%よりも大幅に下回りました。参加者の満足度は 100%を達成したことは評価すべき点であり、本事業の「遊びから生まれる家庭内のコミュニケーションについて学ぶ機会」づくりには一定の成果を残したといえます。

しかしながら、有意義なセミナーであるからこそ、参加率の低さについては検討の必要があります。どのような遊びをするのか事前に告知できなかったことも、参加者が募れなかった原因かもしれません。今後は、広報活動と連動させながら、セミナーのテーマだけではなく開催時期についても子育て世帯へのニーズ調査を行い、参加人数および参加率の向上につながるよう努めていただければと期待します。

No.6　健康な体づくりの推進

本事業では、児童・生徒の運動に対する肯定的意識の向上を通じて、生涯にわたる心身の鍛錬および健康な生活を実践するための資質・能力の育成を目的として取り組んでいる事業です。羽村市教育委員会の事業取組として特徴付けられるのは、基本方針４に「生涯学習の推進」を掲げているように、No.4 の「小中一貫教育の推進」、No.5 の「道徳教育の充実」、No.7 の「ICT 機器を活用した教育の推進」のように、子供たちの知的な発達を促進する事業だけではなく、生涯にわたり市民として社会に貢献していくための、運

動・スポーツを通じた身体づくり、すなわち健康寿命への意識向上を促進している点でしょう。この取組については「生涯学習の支援」の項でも同様の傾向が見られます。

しかしながら、本年度は調査対象の小学５年生の意識低下を理由に、自己評価はＢとなりました。確かにポイントは低下したものの、全国あるいは東京都の平均から見ても高い数値を保っていることからも、過小評価しすぎなのではないかとも思われます。運動・スポーツ事業の取組と効果を測定するために、目標設定の精査および意識調査のアンケート項目の見直しも視野に入れていただくことを期待します。

No.11　放課後子ども教室の充実

放課後子ども教室スタッフの充実及び、活動プログラムの充実を図る本事業では、本年度から指導員及びコーディネーターを４名増員し、３つの団体との連携プログラムを実施することができ、掲げていた目標を達成することができました。地域団体との連携活動プログラムとしては、ペットボトルロケット制作、科学実験教室、映画会などが実施され、小学生に理科に興味・関心を持たせようという工夫もされているのが特徴的です。

民間委託化を検討していくということですが、現在のところ放課後子ども教室は小学校に通う児童のみを対象としています。しかし、No.10 の「部活動の地域展開の実施」でもあるように、部活動が地域展開されていくのにあわせ、将来的には放課後子ども教室を中学生向けにも拡張していく必要があるようにも感じます。

２　地域資源の活用

No.17　人材バンク登録制度の活用

本事業は、意欲のある市民向け講座を提供できる指導者と協力者を紹介するための人材バンク事業です。昨年度に引き続き、新規登録者は目標の３名には届かず、０名という結果に終わり、Ｃ評価にとどまりました。人材バンク登録制度が全く利用されなかった理由は、これだけの事業数を見ても明らかなように、十分に市民向けに多種多様な学びの機会を提供できているからと考えるのが妥当にも思えます。事業継続の必要性を考えるならば、新規登録者の増加以外の点で目標設定をするのが望ましいように思えます。

No.24　文化財に関する情報提供

Ａ評価となった本事業では、文化財説明板の作成及び設置、「羽村市郷土博物館紀要」の発行、「東京文化財ウィーク」事業の参加、「多摩郷土誌フェア」の実施、郷土博物館のSNS を活用した情報発信など、羽村市の文化財に関する情報提供を行っています。新館長が着任してからは、「館長のつぶやき」などで積極的に情報発信を展開しており、昨年

度 1000 人を超えた X のフォロワー数も順調に増加しているだけでなく、新規に開設したインスタグラムのフォロワー数も 100 人超えました。今後も SNS 活用による情報発信は継続して行っていただくことを望みます。

現代においては SNS での情報発信が有効なのは間違いないとは思われる一方で、各プラットフォームごとに主な利用者の年齢層が異なることも考慮に入れる必要があるでしょう。No. 22「企画展の開催」、No.23「郷土学習のための講座等の実施」のような催事の情報発信においても、どのプラットフォームを選択し、いかに効果的に市民の関心を引きつけ、新たな来館者やリピーターを獲得していくかを検討していただくことを期待します。特に若い世代向けにいかに訴えていくかを検討することは、持続的な郷土研究と郷土文化の保持に有効であるように思われます。

3　多様な学習の展開

No.30　ゆとろぎ共同事業運営市民の会との共同事業の実施

プリモホールゆとろぎの開館から 20 周年を迎えた本年度では、ホール事業が 5 事業、展示事業が 4 事業、講座事業が 11 事業となり、合計 20 事業をゆとろぎ共同事業運営市民の会との共同で実施しました。ホール事業における定員に対する充足率は非常に高い水準である一方で、講座事業において充足率が低い講座も少なくありません。特にアカデミックな講座になると参加者が減少しているようにも見えるため、さまざまな世代の市民にとって親しみのある講座タイトルにするなど、今後は参加者を増やす工夫を継続して行っていただきたいと思います。

No.37　図書館業務体験事業の実施

本事業では、小学生高学年を対象とした夏休み期間における司書体験、中学生及び高校生を対象とした図書館での YA ボランティア体験を実施しました。司書体験では、定員 10 人に対し、参加者 7 人となり、目標値を下回る結果となりましたが、ボランティア体験では、定員を超える参加者数となり、若干名の超過ではあるものの、参加した中学生の読書への興味を高めるだけでなく、図書館という市民の空間への関心を抱かせる契機になったといえます。期待していた羽村高校からの参加がなかったことが課題となりますが、中学生と高校生が同じ空間で協働することによって、互いの知的関心が刺激されることも考えられます。今後も羽村高校から高校生の参加者を得るために積極的に働きかけをしていただくことを期待します。

４　生涯学習の支援

No.52　生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

まちづくり出前講座は、市役所編（行財政運営や議会、選挙、子供・子育て、健康、スポーツ、生活・環境、福祉、教育・生涯学習、自然・歴史・文化）と、官公署等編（警視庁福生警察署、東京消防庁福生消防署（羽村出張所)、羽村市地域包括支援センター、東京都行政書士会（多摩西部支部)、東京地方検察庁（立川支部)、青梅税務署、東京都金融広報委員会、関東財務局東京財務事務所（立川出張所)、東京都西多摩保健所、東京保護観察所（立川支部)）など多岐に渡る分野にわたり、市や官公署の職員が講師として出向き、講座を行う取組です。令和４年度が９回、令和５年度が 14 回、そして令和６年度の利用回数は 15 回となり、年度目標を達成しただけではなく、年々着実に利用が増えており、出前講座に対するニーズを掴んだ広報活動の賜物といえます。

気がかりな点は、「出前講座メニュー」が羽村市のホームページ上から確認できなくなっていることです。また、過去の講座履歴も現状閲覧できない状態となり、有益な講座に参加したいという市民のニーズに寄り添うことができておりません。紙媒体での広報活動だけではなく、現代的なメディアに対応していくことも、市民にとって生涯学習の機会をより身近で価値あるものにすることに繋がり、さらなる利用の活性化を促すと考えられます。

以上、４つの方向性の中から８つの事務事業を取り上げて意見を述べてきました。各事業は、羽村市教育委員会が掲げる「教育目標」に則った教育施策計画に基づき、適正に実施され、十分な成果を達成したと評価できます。

各事業の達成度の評価については、前年度から指摘されていたことではありますが、参加者数、参加率、満足度といった可視化しやすい数字が基準となっていることが多い現状があります。確かにこれらの項目の数値が行政として施策を行なっていく上で重要なことは言うまでもありませんが、逆にその数値のせいで不必要に評価を落とさざるを得なかった事業もあります。羽村市教育委員会は収益最大化を目的とする営利企業ではないわけですから、教育講座において定員に対する参加率が低調なことで評価を落とし、その結果として事業の縮小に至るとなれば、それこそ「だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる生涯学習社会の実現」という羽村市の「教育目標」にそぐわない状況をもたらす危険性さえあります。そのため、昨年度の指摘通り、各事業の取組と「教育目標」の達成との関連性を考慮したうえで、「課題・対応」を検討していくことが重要ではないかと思います。

この数年にわたり、羽村市教育委員会は、コロナ禍で停滞した行政と市民協働の教育の場を取り戻すだけでなく、人間と AI が織りなす新たな社会に向けて、教育事業の拡大に取り組んできました。ポストコロナ期を経て AI 時代を迎えつつある時代に沿った事業

展開をしつつ、市民の教育に対する「熱意」や「意欲」を質・量の両側面から検討していくことで、より解像度の高い評価につながるよう期待いたします。

5　教育委員会の活動の状況
教育委員会の審議事項等

区分（議：議案　協：協議　報：諸報告等）

会議名	開催日		審議事項等
令和７年第５回 教育委員会 （定例会）	令和7年4月22日	議	専決処分の承認を求めることについて 〔「羽村市立学校産業医の選任について」の意見聴取について〕
		議	専決処分の承認を求めることについて 〔「羽村市立学校学校医の委嘱について」の意見聴取について〕
		議	令和７年度羽村市一般会計補正予算（第１号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について
		議	羽村市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則
		議	羽村市教育委員会いじめ問題対策連絡協議会規則の一部を改正する規則
		議	羽村市立学校における学校運営協議会委員の任命について
		議	羽村市社会教育委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		報	教育委員会へ提出された陳情等について
		報	羽村市社会教育委員の会議からの答申について
		報	羽村市教育委員会共催・後援申請事業について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告
令和７年第６回 教育委員会 （定例会）	令和7年5月20日	議	令和７年度羽村市一般会計補正予算（第２号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について
		議	羽村市弓道場条例等の一部を改正する条例に係る意見聴取について
		議	羽村市図書館協議会委員の委嘱について
		議	羽村市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱及び任命について
		議	羽村市立小中学校における「学習用端末」の買入れに係る意見聴取について
		報	令和８年度使用羽村市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択事務について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和７年第７回 教育委員会 （定例会）	令和7年6月17日	議	羽村市郷土博物館条例施行規則の一部を改正する規則
		議	羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に伴う有識者の選任について
		議	羽村市図書館協議会委員の委嘱について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告
令和７年第８回 教育委員会 （定例会）	令和7年7月15日	議	専決処分の承認を求めることについて 〔「令和７年度羽村市一般会計補正予算（第３号）のうち教育費に係る部分」の意見聴取について〕
		議	専決処分の承認を求めることについて 〔「羽村市立学校学校医の委嘱について」の意見聴取について〕
		議	専決処分の承認を求めることについて 〔「羽村市就学支援委員会委員の委嘱について」の意見聴取について〕
		議	専決処分の承認を求めることについて 〔「教育委員会職員の人事について」の意見聴取について〕
		議	羽村市スポーツセンターの管理運営に関する規則及び羽村市スイミングセンターの管理運営に関する規則を廃止する規則
		議	羽村市図書館協議会委員の委嘱について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告
令和７年第９回 教育委員会 （定例会）	令和7年8月19日	議	専決処分の承認を求めることについて 〔「羽村市公立学校管理職の人事について」の意見聴取について〕
		議	令和７年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に点検及び評価について
		議	令和７年度羽村市一般会計補正予算（第４号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について
		議	令和８年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
		議	羽村市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱及び任命について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告
令和７年第10回 教育委員会 （定例会）	令和7年9月16日	議	教育委員会委員の辞職の同意について
		報	要望書「羽村市スポーツセンター大規模改修工事等に伴うスポーツ活動場所の確保について（要望）」
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和７年第11回 教育委員会 （定例会）	令和7年10月21日	報 報 報	令和６年度図書館評価について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和７年第12回 教育委員会 （定例会）	令和7年11月18日	議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市公立学校通学区域等に関する規則の一部を改正する規則〕 令和７年度羽村市一般会計補正予算（第６号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 令和８年羽村市二十歳のつどいについて 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和７年第13回 教育委員会 （定例会）	令和7年12月16日	議 報 報	羽村市生涯学習センターゆとろぎ管理運営条例施行規則の一部を改正する規則 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和８年第１回 教育委員会 （定例会）	令和8年1月20日	報 報	教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和８年第２回 教育委員会 （臨時会）	令和8年2月3日	議	羽村市立小中学校管理職の人事について
令和８年第３回 教育委員会 （定例会）	令和8年2月17日	議 議 議 議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和7年度羽村市一般会計補正予算（第９号）のうち教育費に係る部分」の意見聴取〕 令和7年度羽村市一般会計補正予算（第１０号）のうち教育費に係る部分」の意見聴取について 令和８年度羽村市教育委員会の教育目標について 令和８年度羽村市一般会計予算のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市教育委員会いじめ問題対策連絡協議会委員の任命及び委嘱について 第六次羽村市長期総合計画 前期基本計画 令和８年度実施計画・予算（概要説明）について 博物館法改正に伴う登録博物館の再登録について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和８年第４回 教育委員会 （定例会）	令和8年3月24日	議	専決処分の承認を求めることについて 〔損害賠償額の決定及び和解に係る意見聴取〕
		議	専決処分の承認を求めることについて 〔令和7年度羽村市一般会計補正予算（第11号）のうち教育費に係る部分の意見聴取〕
		議	羽村市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則
		議	羽村市公立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
		議	羽村市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則
		議	羽村市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程
		議	羽村市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規程の一部を改正する規程
		議	羽村市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程
		議	羽村市情報セキュリティ基本方針の改定について
		議	羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に伴う有識者の選任について
		議	羽村市立学校 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		議	羽村市立学校における学校運営協議会委員の任命について
		議	羽村市社会教育委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進委員の委嘱について
		議	羽村市文化財保護審議会委員の委嘱について
		議	羽村市立学校産業医の選任について
		議	教育委員会職員等の人事について
		報	羽村市立学校における働き方改革推進プラン（改訂）について
		報	羽村市立学校生成AI利活用ガイドラインについて
		報	日本航空学園との包括連携協定について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告

教育委員会委員の主な活動報告

年月	活動内容	会場
令和７年４月	理事者、教育委員会委員及び教育委員会管理職と学校管理職との顔合わせ式	特別会議室
	教育長　訓示	特別会議室
	新規採用教職員辞令伝達式	大会議室
	第56回羽村市総合スポーツ大会総合開会式 兼第78回都民体育大会羽村市結団式	スポーツセンター
	小学校入学式	各小学校
	中学校入学式	各中学校
	第5回教育委員会（定例会）	特別会議室
	第2回羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会)	第2給食センター
令和７年５月	羽村市スポーツ協会通常総会	ゆとろぎ
	第６回教育委員会（定例会）	特別会議室
	羽村市文化協会総会・創立20周年記念式典	ゆとろぎ
	令和７年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(長野大会)	ホクト文化ホール（長野県民文化会館）
	武蔵野小学校運動会	武蔵野小学校
令和７年６月	羽村第三中学校体育大会	羽村第三中学校
	稲作体験（田植え）	根がらみ前水田
	第7回教育委員会（定例会）	特別会議室
	教育委員会学校訪問①（羽村第一中学校）	羽村第一中学校
	羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会〈定例会〉	第2給食センター
令和７年７月	「社会を明るくする運動」駅頭広報活動	羽村駅・小作駅
	教育委員会学校訪問②（羽村第二中学校）	羽村第二中学校
	羽村市学校保健会特別講演会	ゆとろぎ
	教育委員会学校訪問③（武蔵野小学校）	武蔵野小学校
	教育委員会学校訪問④（栄小学校）	栄小学校
	第8回教育委員会（定例会）	特別会議室
	HAMURAメリーリボン演劇祭	ゆとろぎ
	社会を明るくする運動　映画「前科者」	ゆとろぎ
	令和７年度特別支援教育講演会 「発達障害児の子育てその家族への支援」	産業福祉センター「iホール」
	東京都市教育長会研修会	東京自治会館

年月	活動内容	会場
令和７年８月	学校マネジメント講座Ⅱ（第３回）	大会議室
	第9回教育委員会（定例会）	特別会議室
	”むさしの”夜の学校探検（コミュニティ・スクール委員会による親子参加のイベント企画）	武蔵小学校
	星空のコンサート	羽村西小学校
令和７年９月	第10回教育委員会（定例会）	特別会議室
	松林小学校　学校公開	松林小学校
	佐々蔚先生彼岸墓参り	富士見霊園
	教育委員会学校訪問⑤	羽村第三中学校
	羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会	第2給食センター
	羽村・瑞穂地区学校給食組合議員視察研修	立川市学校給食東共同調理場、同西共同調理場
令和７年10月	教育委員会学校訪問⑥	羽村西小学校
	中学校体育大会	羽村第一中学校 羽村第二中学校
	第５６回羽村市文化祭オープンイベント 生涯学習文化講演会	ゆとろぎ
	市民スポーツまつり	富士見公園 スポーツセンター スイミングセンター
	東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修会	ＪＡＸＡ筑波宇宙センター
	小学校運動会	羽村東小学校、羽村西小学校、富士見小学校、栄小学校、松林小学校、小作台小学校
	第11回教育委員会（定例会）	特別会議室
	教育委員会学校訪問⑦	松林小学校
	羽村第三中学校　合唱コンクール	ゆとろぎ
	教育委員会学校訪問⑧	富士見小学校
令和７年11月	教育委員会学校訪問⑨	小作台小学校
	青少年健全育成のつどい・子どもフェスティバル	ゆとろぎ
	東京都市町村教育委員会連合第Ⅰブロック研修会	奥多摩水と緑のふれあい館（奥多摩町）
	教育委員会学校訪問⑩	羽村東小学校
	第12回教育委員会（定例会）	特別会議室
	作品展	武蔵野小学校
	学芸発表会	羽村西小学校
	音楽会	小作台小学校
	音楽学習発表会	富士見小学校
	創立50周年式典	松林小学校

年月	活動内容	会場
令和７年12月	第13回教育委員会（定例会）	特別会議室
令和８年１月	青少年西地区委員会どんど焼き	宮の下運動公園
	令和8年二十歳のつどい	ゆとろぎ
	東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会・第2回理事研修会	東京自治会館
	市町村教育委員会研究協議会	オンライン
	第1回教育委員会（定例会）	特別会議室
	羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会）	第2給食センター
	令和6・7年度　羽村市教育研究指定校　研究発表会	羽村西小学校
令和７年２月	第2回教育委員会（臨時会）	特別会議室
	子ども国際交流音楽祭　交流コンサート	ゆとろぎ
	第3回教育委員会（定例会）	特別会議室
	第1回羽村市長期総合計画審議会	特別会議室
	東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会	オンライン
令和７年３月	青少年問題協議会	特別会議室
	日野工業高等学園卒業式	日野自動車21世紀センター
	羽村第二中学校音楽会	ゆとろぎ
	羽村第一中学校合唱コンクール	羽村第一中学校 体育館
	羽村市駅伝大会	富士見公園周辺
	羽村市教育委員会表彰	ゆとろぎ
	佐々蔚先生彼岸墓参り	富士見霊園
	中学校卒業式	羽村第一中学校 羽村第三中学校
	第2回羽村市長期総合計画審議会	特別会議室
	第4回教育委員会（定例会）	特別会議室

教育委員会学校訪問

年月日	学校名	訪問内容	主な出席者
令和７年６月25日（水）	羽村第一中学校	・学校概要説明 ・授業参観（施設見学を含む） ・学校管理職との懇談会 ・給食指導見学・給食試食は１校のみ実施	教育長 教育委員会委員 教育委員会職員
７月３日（木）	羽村第二中学校		
７月８日（火）	武蔵野小学校		
７月14日（月）	栄小学校		
９月24日（水）	羽村第三中学校		
10月２日（木）	羽村西小学校		
10月22日（水）	松林小学校		
10月30日（木）	富士見小学校		
11月５日（水）	小作台小学校		
11月13日（木）	羽村東小学校		

資　料　編

１　根拠法令等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

昭和３１年法律１６２号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成２０年４月１日施行）
（平成２７年４月１日改正）

羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する要綱

（趣旨）

第１条　この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第２６条の規定に基づき、羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施するために必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるとおりとする。

（１）　点検　個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について取りまとめることをいう。

（２）　評価　個々の施策及び事業についての点検を踏まえ課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示すことをいう。

（対象）

第３条　点検・評価の対象は、毎年度策定する「羽村市教育委員会の教育目標」に定められた基本方針に基づく主要施策及び事業とする。

（点検・評価の実施）

第４条　点検・評価は、前条に規定する主要施策及び事業について毎年１回実施するものとする。

２　点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者（以下「学識経験者」という。）の知見の活用を図るものとする。

３　前項に規定する知見の活用にあたっては、主要施策及び事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取する機会を設けるものとする。

４　教育委員会において点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、羽村市議会へ提出する。この場合において、報告書は公表するものとする。

（点検・評価に関する有識者の設置）

第５条　前条第２項に規定する学識経験者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」（以下「有識者」という。）を置く。

２　有識者は、２人とする。

３　有識者は、教育委員会が依頼し、任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

４　有識者が欠けた場合における補欠の有識者の任期は、前任者の残任期間とする。

５　有識者に対して、予算の範囲内で謝礼を支払うものとする。

（庶務）

第６条　点検・評価に関する庶務は、教育委員会に関する事務を所掌する課において処理する。

（委任）

第７条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付　則

この要綱は、平成２０年１１月１日から施行する。

付　則

（施行期日）

１　この要綱は、平成２７年６月５日から施行する。

（経過措置）

２　この規程の施行の際現に在職する教育長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成２６年法律第７６号。以下「改正法」という。）附則第２条第１項の場合においては、改正後の要綱の規定は適用せず、改正前の要綱の規定は、なおその効力を有する。

発行　羽村市教育委員会
編集　生涯学習部生涯学習総務課
〒２０５－８６０１
東京都羽村市緑ヶ丘５－２－１
TEL　０４２－５５５－１１１１
FAX　０４２－５７８－０１３１
URL　http：//www.city.hamura.tokyo.jp/